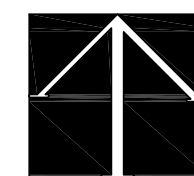


猿橋小学校 空調設備工事 設計図



SOGO ARCHITECTS & ENGINEERS

綜合建築設計事務所

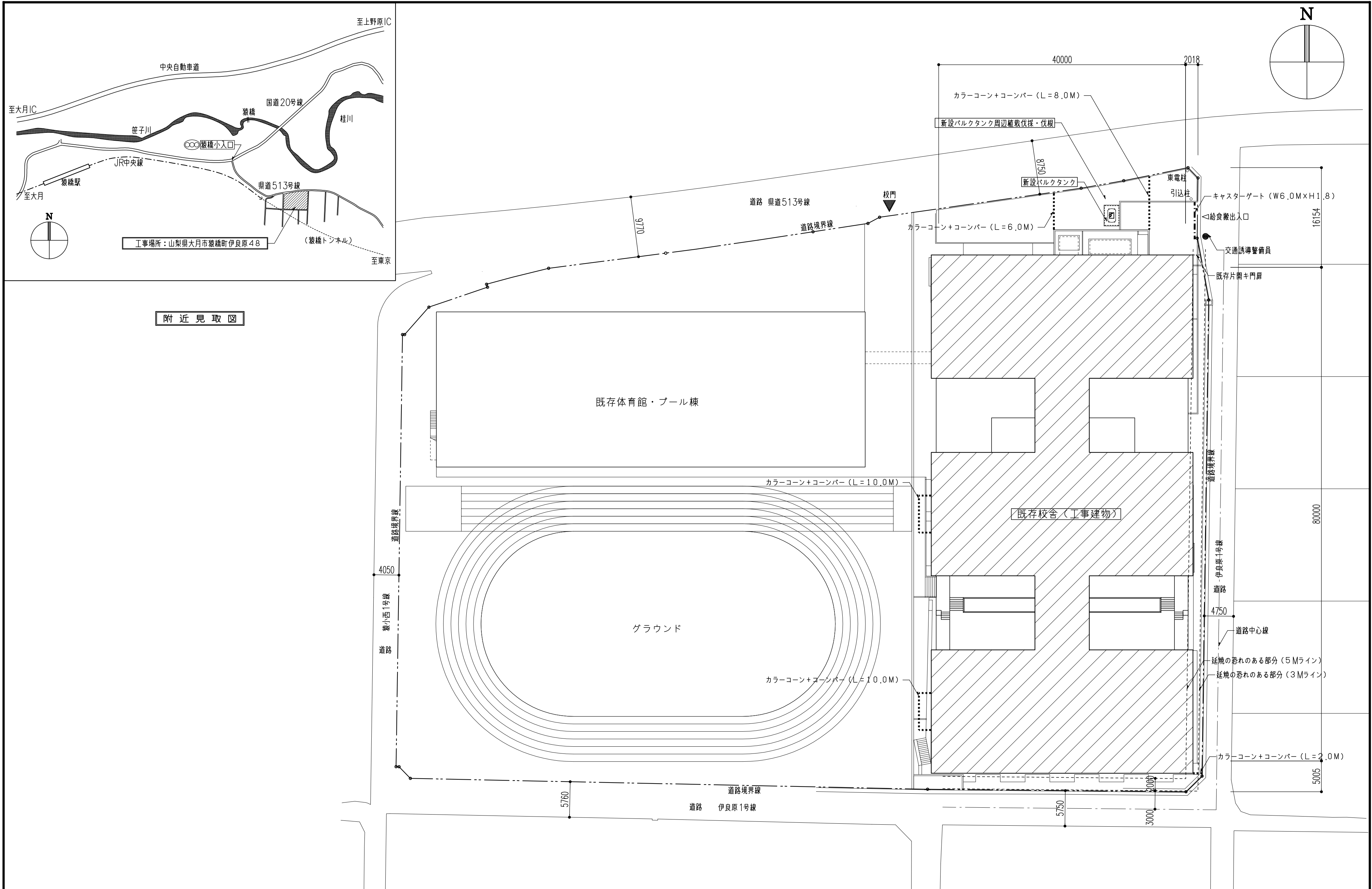
一級建築士事務所

図 面 リ ス ト（総枚数：表紙+34枚=35枚）											
図面番号	図面名称	縮尺	原図サイズ	図面番号	図面名称	縮尺	原図サイズ	図面番号	図面名称	縮尺	原図サイズ
A - 01	図面リスト	NO SCALE	A 2	E - 01	特記仕様書	NO SCALE	A 2	M - 01	特記仕様書	NO SCALE	A 2
A - 02	工事区分表	NO SCALE	A 2	E - 02	配置図・附近見取図	S=1/400	A 2	M - 02	機器表	NO SCALE	A 2
A - 03	特記仕様書	NO SCALE	A 2	E - 03	受変電設備改修図	NO SCALE	A 2	M - 03	空調系統図	NO SCALE	A 2
A - 04	一般概要・改修仕上表	NO SCALE	A 2	E - 04	動力盤結線図	NO SCALE	A 2	M - 04	配置図・附近見取図	S=1/400	A 2
A - 05	配置図・附近見取図	S=1/400	A 2	E - 05	改修 1階電気設備平面図 No.1	S=1/200	A 2	M - 05	改修1階平面図	S=1/200	A 2
A - 06	改修1階平面図	S=1/200	A 2	E - 06	既存 1階電気設備平面図 No.2	S=1/200	A 2	M - 06	改修2階平面図	S=1/200	A 2
A - 07	改修2階平面図	S=1/200	A 2	E - 07	改修 2階電気設備平面図 No.1	S=1/200	A 2	M - 07	改修R階平面図	S=1/200	A 2
A - 08	改修屋上平面図	S=1/200	A 2	E - 08	既存 2階電気設備平面図 No.2	S=1/200	A 2	M - 08	既存改修・撤去1階平面図	S=1/200	A 2
A - 09	雑詳細図（1）	各図参照	A 2	E - 09	改修 屋上電気設備平面図 No.1	S=1/200	A 2	M - 09	既存改撤去R階平面図	S=1/200	A 2
A - 10	雑詳細図（2）	S=1/20	A 2	E - 10	既存 屋上電気設備平面図 No.2	S=1/200	A 2	M - 10	普通教室詳細平面図	S=1/50	A 2
								M - 11	普通教室詳細断面図	S=1/50	A 2
								M - 12	ガスバルクタンク参考図	NO SCALE	A 2
								M - 13	空調機選定表 1	NO SCALE	A 2
								M - 14	空調機選定表 2	NO SCALE	A 2

[illegible]

猿橋小学校 空調設備工事			章	項	目	特 記 事 項			5	①. 鉄筋の種類			<5.2.1>			9	①. 内装工事 ②. 既存天井撤去並びに下地補修			<6.4.2>									
特 記 仕 様 書			1	一般共通事項		④.下請届等の提出 ⑤.下請施工体系図の作成及び提出			鉄筋工事 6 コンクリート工事			2. 溶接金網 3. 鉄筋の継手 4. 柱の帯筋 5. 圧接完了後の抜取試験			<5.2.2> <5.3.4> <5.3.4>×図5.3.2 <5.4.9>			その他の改修工事 3. 塗装改修工事 4. 合成樹脂エマルションペイント塗り											
I 工 事 概 要 1 工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 2 工事場所 山梨県大月市猿橋町伊良原48 3 主要用途 学校（小学校） 4 主要構造 鉄筋コンクリート造 2階建 5 工事の概要 普通教室他（全34教室）分のGHPタンクの基礎を地上に設置する。 その他室内の改修工事、及びタンク周囲のフェンスの設置			II 建 築 工 事 仕 様 1. この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 1) 工事請負契約書 2) 国土交通省大臣官庁官庁官総部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版） 3) " 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 4) " 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版） 5) " 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版） 6) " 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 7) " 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版） 8) " 建築物解体工事共通仕様書（最新版） 9) 山梨県建設工事特記仕様書 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○ 印のついたものを適用する。○ 印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○ 印と⊗ 印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載のくゝ、（ ）内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 3. 施工基準 本工事は下記により完全に施工するものとする。 建築基準法、 消防法、 その他関係政省令、 監督職員の指示事項			16.建設副産物実態調査（センサス）の対象工事 17.グリーン購入法			※ 請負金額100万円以上の工事については、建設副産物実態調査（センサス）の対象工事となるので再生資源利用計画（実態）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出をおこなうこと。 なお、提出にあつては「建設リサイクルデータ統合システム－CREDAS」により作成した計画書を1部（紙）施工計画書に添付し監督員に提出し、また工事完了後は計画書のデータを実績値に修正した実施書を作成し、1部を完成書類に添付し、また電子データをCD－ROM等により監督員に提出するものとする。 ※ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき「山梨県グリーン購入の推進を図るための方針」により定められた次の資材に関しては同法の判断基準を満たすものの採用を努め、建設機械については原則使用とすること。 また採用が困難な場合は、理由書を添付して報告すること。 1) 出来る限り判断基準を満たす物品を調達するよう配慮した品目 建材) ・再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板） ・陶磁器質タイル ・高炉セメント板 ・フライアッシュセメント ・再生加熱アスファルト混合物（計釈） ・高炉セメント、フライアッシュセメントは鉄筋コンクリート造には用いない ・再生加熱アスファルト混合物は積極的に採用する。（プラントから40km以内） 建設機械) ・排出ガス対策型建設機械 2) 判断基準を満たす物品を採用する品目 ・掲示板 ・黒板 ・ホワイトボード ・カーテン ・カーペット ⑧.暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除 ⑨.使用燃料等			①. 設計基準強度 ②. レディーミクストコンクリート ③. 打放し仕上げの種別 ④. セメントの種類 ⑤. 骨 材 ⑥. 混和材料 7. 無筋コンクリート ⑧. 型 枠 ⑨. コンクリートの打込み工法 10. 既存部分の撤去			普通コンクリート（N/mm ² ） 設計基準強度 適用 箇所 ※ 21 屋外構基礎 類別 ※ I類 ・ II類 種 別 適用 箇所 ・ A種 ・ B種 屋外構基礎 ・ C種 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 細骨材の塩分含有量（NaCl換算） ※ 0.04 %wt 以下 混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形1種 適用箇所は<6.14.1>によるほか、下記による。 適用 箇所 コンクリートの打込みは、監督員の立会いを受ける。ただし、監督員の指示により報告にかえることができる。 せき板の種類 ※ 合板 せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 型枠工事を行った場合、完成時に型枠工事等実施報告書を監督員に提出する。 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ①. 鉄骨製作工場 ②. 鋼材の種類 3. 高力ボルト 4. 溶接部の試験 5. 錆び止め塗装 ⑥. 亜鉛めっき 7. アンカーボルト			<6.1.3> <8.1.3>×表8.1.1 <6.2.5>×表6.2.3 <6.3.1> <6.3.3> <6.3.5> <6.14.1> <6.9.3> <6.6.4> <8.1.5> <7.2.1>×表7.2.1 <7.2.2>×表7.2.2 <7.6.11> <7.8.1>×<7.8.4> (7.12.3) による。 <7.2.4> <8.2.4> <8.1.5>			①. フェンス工事 22 舗装工事 舗装版切断時に発生する濁水処理			①. 路盤材料 2. アスファルト舗装 3. 舗装版切断時に発生する濁水処理			<22.3.3> 加熱777t混合物等の種類（表層） ・密粒度777t混合物(13) ・細粒度777t混合物(13) <表22.4.6> 舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表（マニフェスト）により適正に処理し、監督員に提示するものとする。 現場条件等により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。		
章 項 目 特 記 事 項			1 一般共通事項 2 適用基準等 3 工事実績情報（CORINS）の登録 ④.電気保安技術者 ⑤.事故報告 ⑥.完成図・完成写真 ⑦.工事写真 8.設備工事との取合い ⑨.火災保険等 10.工事特性 ①①.工事施工計画書 ①②.進捗状況報告書 ①③.環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法			①.一般事項 ・ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上指示に従う ・ 請負業者は、監督職員と随時打ち合わせを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかる事。 ・ 工事着手前や完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等内外の状況（地盤傾壁、内外壁、床、建具）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。調査範囲 ※図示 ※ 適用する ※ 適用しない 工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」指示する期日までに監督職員に提出する。 ※ 監督員から指示があった場合は、工事完成後に提出する。 ※ 監督員から指示があった場合は、工事完成後に提出する。 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 工事目的及び工事材料等について、次により保険に付す。 保健の種類 ※火災保険 ※建設工事保険 保健期間 ※火災保険の加入期間は、工期に14日以上の日を加えた日までとする。 このことについて、請負者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに、所定の様式により提出することができる ①①.工事施工計画書 次の工事施工計画書を提出すること。 ・総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの） ・工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による） ①②.進捗状況報告書 工事進捗状況報告書を提出すること。 ①③.環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。 （建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）			2 仮設工事 ①.仮囲い ②.交通誘導員 ③.工事表示板 ④.足場その他 ⑤.既存部分の養生 ⑥.監督職員事務所 ⑦.工事用水 ⑧.工事用電力 9.工事用通路			① 設ける 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ 成形鋼板（H＝ ） ・ 波形鉄板（H＝ ） ・ バリゲート ・ キャスターゲート（H＝ ， W＝ ） × 箇所 ・ 屋内廊下防火シート簡易仮囲い、位置及び延長は図示による。 ※ 配置する（資材搬出入時） ※ 設置する 設置枚数 1枚 内部足場 ※ 脚立、足場板等 外部足場 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 防護シート ※ 設ける ・ 設けない 材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ※ E種 昇降用枠組み足場を設ける。 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。 既存部分の養生方法 ※ ビニシート等による 既存家具等の養生方法 ※ ビニシート等による 既存ブラインド、カーテン等の養生養生方法 ※ 取り外し ・ 設ける ・ 設けない 構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ※ 利用できない 構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く ※ 利用できない ※ 指定しない ・ 指定する（図示） <2.2.4> <2.3.1>			7 鉄骨工事 8-11 あと施工アンカー工事			①. あと施工アンカー ②. あと施工アンカーの試験 ③. 接着系アンカー ①. 接着系アンカー（引張耐力 38.2（KN）、せん断耐力（KN）） ・ 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー（引張耐力（KN）、せん断耐力（KN）） 打込み方式 ※ 本体打込み式 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 樹脂カプセルアンカーの仕様は以下の同等品とする。 ケミカルアンカー（日本デコラックス） ARケミカルセッター（旭化成工業）			①. 舗装材料 2. アスファルト舗装 3. 舗装版切断時に発生する濁水処理			<22.3.3> 加熱777t混合物等の種類（表層） ・密粒度777t混合物(13) ・細粒度777t混合物(13) <表22.4.6> 舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表（マニフェスト）により適正に処理し、監督員に提示するものとする。 現場条件等により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。					
			総合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号 一級建築士登録 第110879号 小林 一			承認設計担当			総尺 NO SCALE 設計年月日			工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図 図面名称 特記仕様書			A-03 No,														

一 般 概 要				改 修 建 築 工 事 特 記 事 項								
工 事 名 称	猿橋小学校 空調設備工事			(1)	本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。又、設計図書に記載なくとも外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、係員の指示に従い請負金額の範囲内において施工するものとする。							
建築主・住所氏名	山梨県大月市大月2丁目6-20 大月市長 石井 由己雄 様 TEL：0554-22-2111											
建 築 地	山梨県大月市猿橋町伊良原48			(2)	既存部分を工事の都合などに依り破損、損傷させた箇所は、完全に修復しなければならない。							
建 築 用 途	学校（小学校）			(3)	障害物 の 処理として工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。							
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造 2階建			(4)	本工事の施工に当り学校関係者、付近住民、隣接建物、工作物に対して障害を与えないように、必要な保護設備を計画し係員及び各関係の承認を得て実施する。							
用 途 地 域	都市計画区域内 用途地域 無指定				万一損害を与えた時は、速やかに応急手当、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。							
最 高 の 高 さ	13.08M ※平均地盤面より			(5)	本工事は既存改修工事につき、各部寸法は現場実測の上 決定とする。							
最高の軒の高さ	9.98M ※平均地盤面より			(6)	建設機械等の使用にあたっては、現場周辺の生活環境を考慮し低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械の使用に努める事とする。							
敷 地 面 積	11,676.08㎡			(7)	天井点検口はアルミ枠既製品450角、設置部屋及び個数は下記仕上表を参照。（位置は現場協議にて）							
建 築 面 積	2,800.46㎡			(8)	天井材取外し後、LGS下地に不陸がある場合は、調整を行う事、又天井廻り縁及び見切材を撤去する必要がある部分については、請負金額内で撤去新規取付とする。							
延 床 面 積	4,866.46㎡（1階：2,619.33㎡ 2階：2,247.13㎡）			(9)	外部メッシュフェンス位置については、設備機器から有効距離500mm以上とする事。							
				(10)	フェンス及び設備機器設置位置（屋上設備機器、新設鉄骨架台共）については、監督員と協議の上決定すると共に、学校管理者の承認も得る事。							
別 途 工 事	特記なき什器備品			(11)	下記仕上表改修後欄の現状のままとは、天井材取外し・再取付などを行わない事を示す、又天井材取外し・再取付を行う箇所は平面図で特記とする。							
				(12)	内部仮囲いはカラーコーン+コーンバーとし、工事進捗に合わせ盛替えによる対応とする。（立入禁止の表示をする事）							
外 構 工 事 仕 上 表												
ガスバルクタンク基礎		W3400×D2500、鉄筋：D13@200・D16、コンクリート：FC=21+3-S18		空調室外機基礎（屋上）	室外機鉄骨架台：H150×150×7×10（1台当り2本）溶融亜鉛メッキ塗装、ケミカルアンカー止め（接着系アンカー）							
		床：コンクリート金ゴテ仕上（立上り共）、現状GL+100・+200			既存室外機用基礎利用（ウレタン塗膜防水仕様）							
		メッシュフェンスH=1200、片開キ扉W1000タイプ、基礎コア抜きによる設置			※既存鉄骨架台撤去処分：機械設備工事							
		消火器BOX（屋外用）1個、消火器：粉末10型1本										
		周辺既存植栽伐採・伐根 S=27.7㎡ 高木H=3.0M程度1本（他低木及び雑草類共）										
内 部 改 修 工 事 仕 上 表												
階数	室 名		天井その他仕上	階数	室 名		天井その他仕上					
1階	用務員室	改修前	化粧PBt=9.5mm貼 天井点検口	1階	理科室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼					
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D1.5m 既存天井点検口再利用			改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（2ヶ所） 新設天井点検口（2ヶ所）					
	職員室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	家庭科室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼						
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W5.7m×D3.0m（2ヶ所） 既存天井点検口再利用		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（2ヶ所） 新設天井点検口（2ヶ所）						
	印刷室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	音楽室	改修前	有孔シナ合板t=5.5mm目スカシ貼の上 水系ウレタンクリアー塗装 目地底シナテープ貼						
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m 既存天井点検口再利用		改修後	全上部既存天井材取外し・再取付（柱型附近下り天井、改修及び内部足場範囲：W0.8m×D12.0m）内部脚立足場範囲：W1.5m×D6.0m						
	校長室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	前室（音楽室）	改修前	有孔シナ合板t=5.5mm目スカシ貼の上 水系ウレタンクリアー塗装 目地底シナテープ貼						
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m 既存天井点検口再利用		改修後	全上既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：W3.39m×D1.85m）						
	特別支援教室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	各準備室 （図工・理科・家庭科）	改修前	化粧PBt=9.5mm貼						
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m 既存天井点検口再利用		改修後	全上部既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：家庭科W0.9m×D3.6m、W5.45m×D1.2m、図工W1.35m×D3.85m、W5.4m×D0.9m、理科W1.35m×D3.85m、W5.85m×D0.9m）						
	保健室 相談コーナー	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	男女WC	改修前	ケイカル板t=6mm貼の上 アクリル樹脂系非水分散形塗料仕上						
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（2ヶ所）、W4.1m×D2.6m 既存天井点検口再利用		改修後	全上部既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：男子WC W8.64m×D2.54m 女子WC W2.54m×D1.8m） 新設天井点検口（2ヶ所）						
	倉庫 （保健室内）	改修前	炭ボードt=12.5mm貼	廊 下	改修前	有孔シナ合板t=5.5mm目スカシ貼の上 水系ウレタンクリアー塗装 目地底シナテープ貼						
		改修後	全上既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：W1.8m×D2.6m）		改修後	全上部既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：W1.8m×D2.32m、W2.27m×D5.45m）						
	特別支援教室 （保健室上部）	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼	2階	低～高学年普通教室 （12室）	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼					
		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W6.0m×D6.0m 新設天井点検口（3ヶ所）			改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W8.0m×D1.35m（12ヶ所） 新設天井点検口（12ヶ所）					
多目的室 生活科室	改修前	有孔シナ合板t=5.5mm目スカシ貼 目地底シナテープ貼	低～高学年ワークスペース （6室）	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼							
	改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（4ヶ所） 新設天井点検口（4ヶ所）		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（12ヶ所） 新設天井点検口（12ヶ所）							
コンピューター室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	児童会室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口							
	改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D6.0m（2ヶ所） 既存天井点検口再利用		改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（12ヶ所） 新設天井点検口（1ヶ所）既存天井点検口再利用							
調べ学習コーナー	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	男女WC	改修前	ケイカル板t=6mm貼の上 アクリル樹脂系非水分散形塗料仕上							
	改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（2ヶ所） 既存天井点検口再利用		改修後	全上部既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：男子WC W2.5m×D2.54m 女子WC W8.64m×D2.54m） 新設天井点検口（2ヶ所）							
図書室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼 天井点検口	多目的WC（2）	改修前	ケイカル板t=6mm貼の上 アクリル樹脂系非水分散形塗料仕上							
	改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（4ヶ所） 既存天井点検口再利用		改修後	全上既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：W1.925m×D2.49m）							
図工室	改修前	ロックウール吸音板t=12mm貼	教材庫（4）	改修前	炭ボードt=12.5mm貼							
	改修後	現状のまま 内部脚立足場範囲：W3.0m×D3.0m（2ヶ所） 新設天井点検口（2ヶ所）		改修後	全上既存天井材取外し・再取付（改修及び内部足場範囲：W1.925m×D2.49m）							
				承認		設計	担当	縮 尺 NO SCALE		工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図		A-04 No,
								設計年月日		図面名称 一般概要・改修仕上表		



附近見取図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認 設計 担当

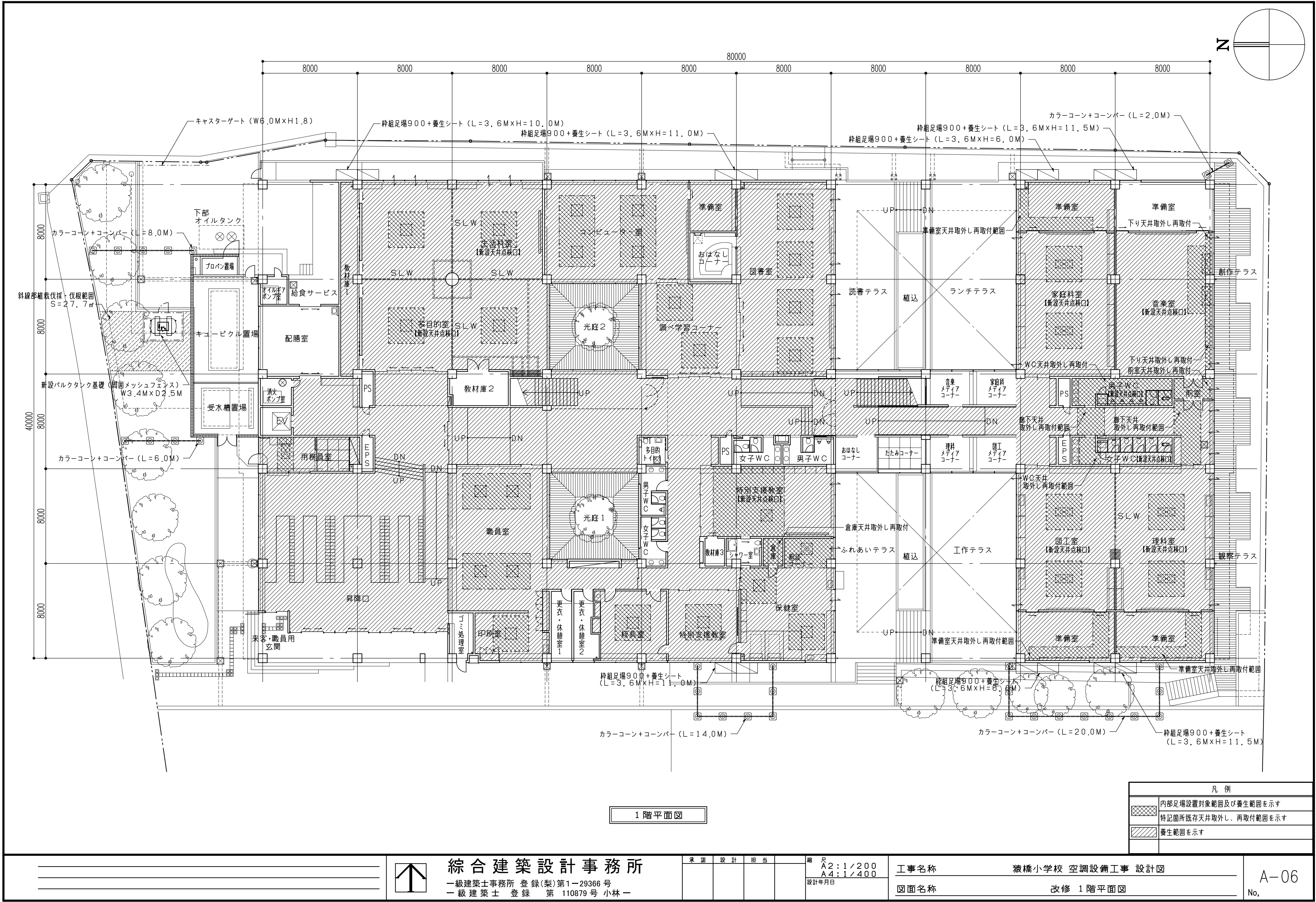
縮尺
A2: 1/400
A4: 1/800
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 配置図・附近見取図

A-05

No,



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認 設計 担当

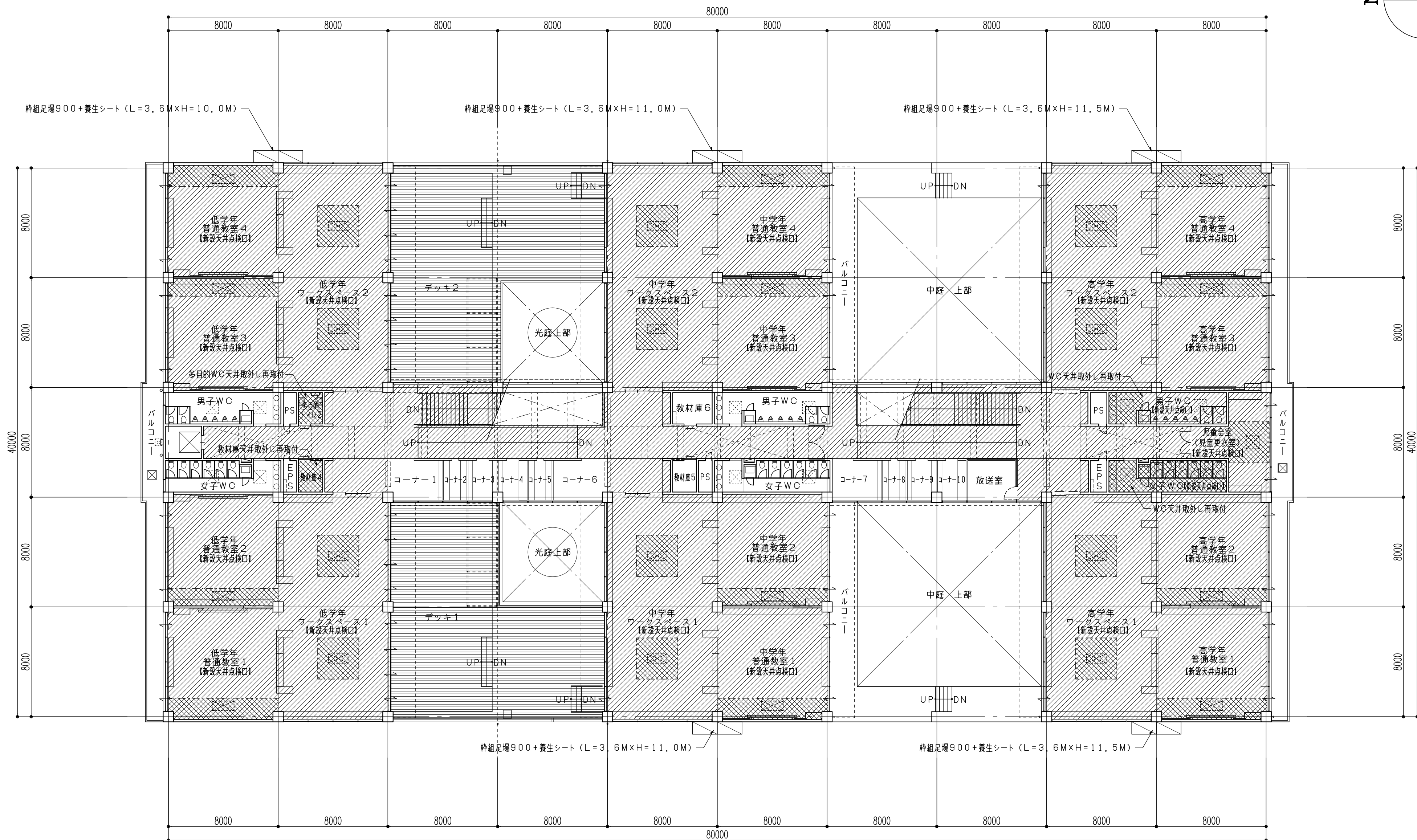
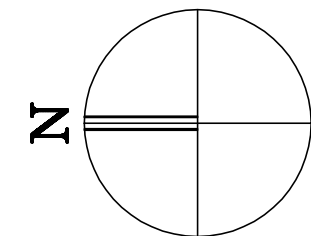
縮尺
A2:1/200
A4:1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 1階平面図

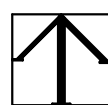
A-06

No,



2階平面図

凡 例	
	内部足場設置対象範囲及び養生範囲を示す
	特記箇所既存天井取外し、再取付範囲を示す
	養生範囲を示す



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認 設計 担当

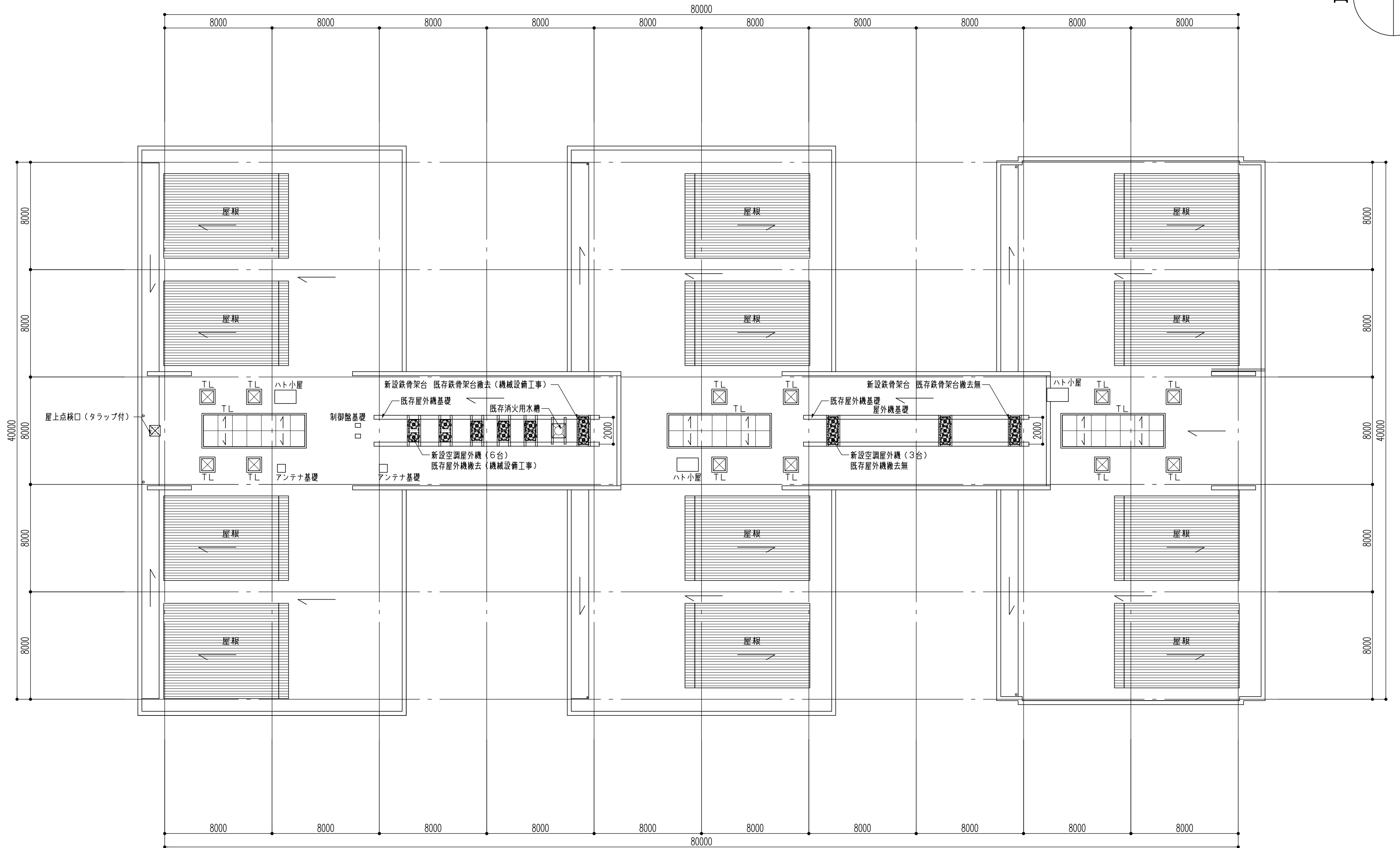
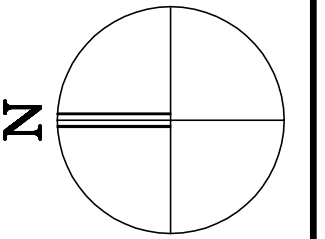
縮尺
A2:1/200
A4:1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

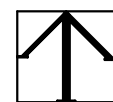
図面名称 改修 2階平面図

A-07

No,



屋上平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

縮尺
A2:1/200
A4:1/400
設計年月日

工事名称	猿橋小学校 空調設備工事 設計図
図面名称	改修 屋上平面図

A-08

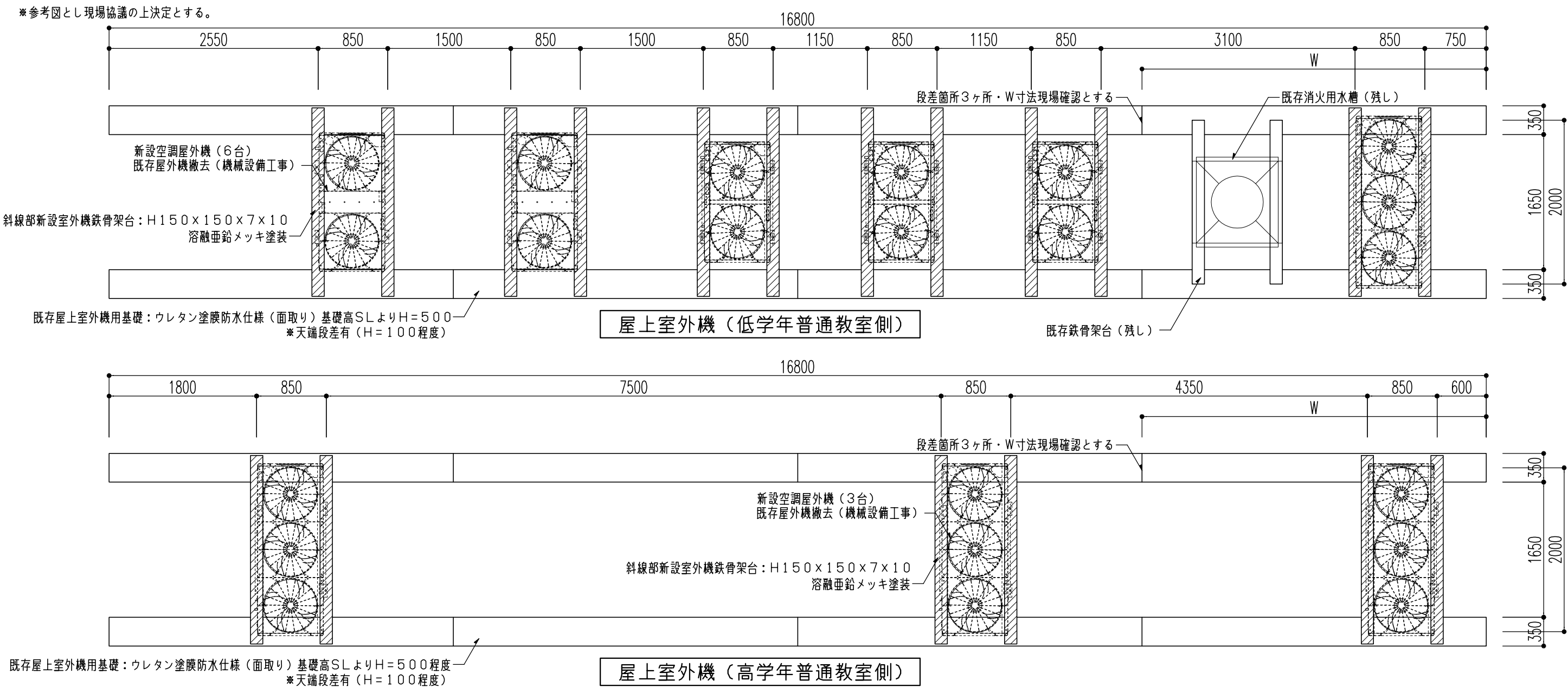
No,

屋上室外機基礎・鉄骨架台 平面詳細図

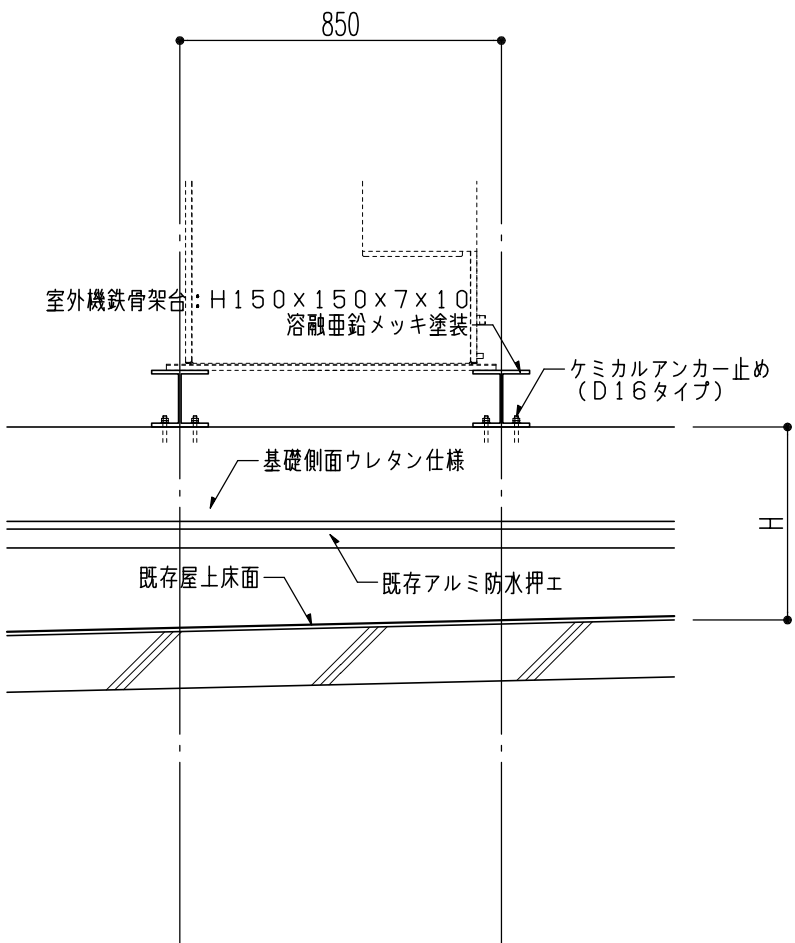
A2:S=1/50
A4:S=1/100

鉄骨架台 詳細図

A2:S=1/20
A4:S=1/40

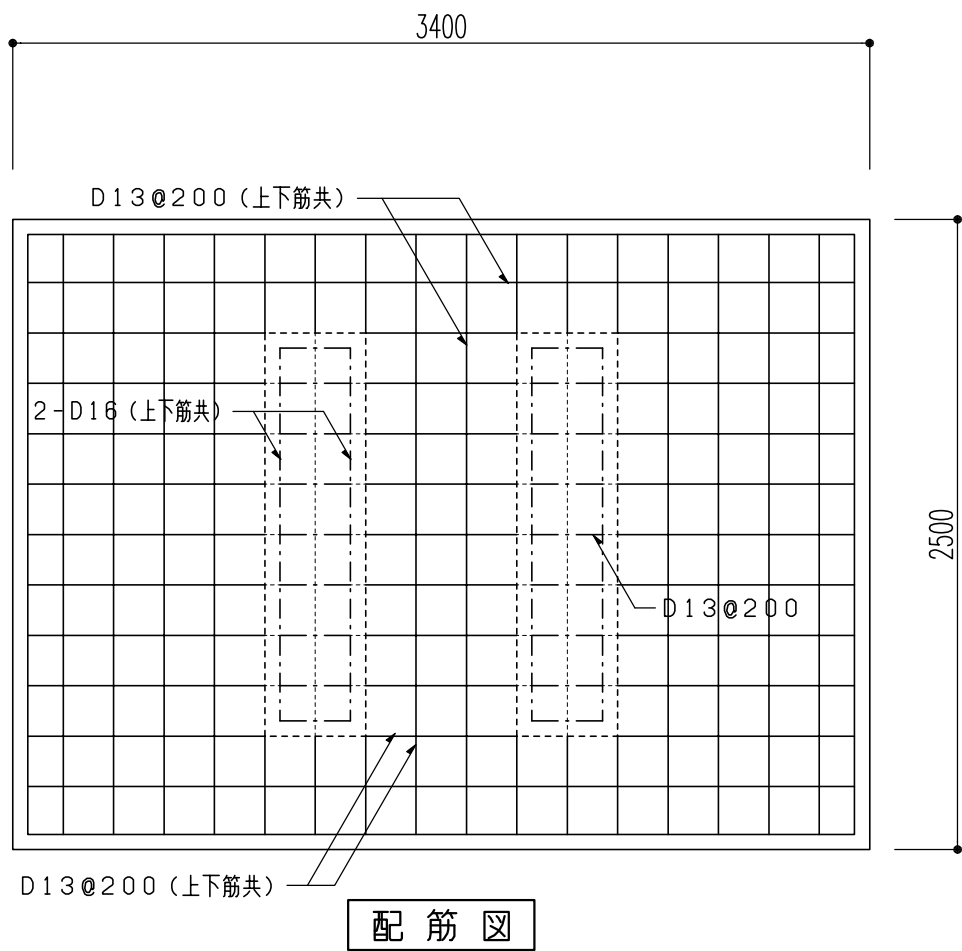
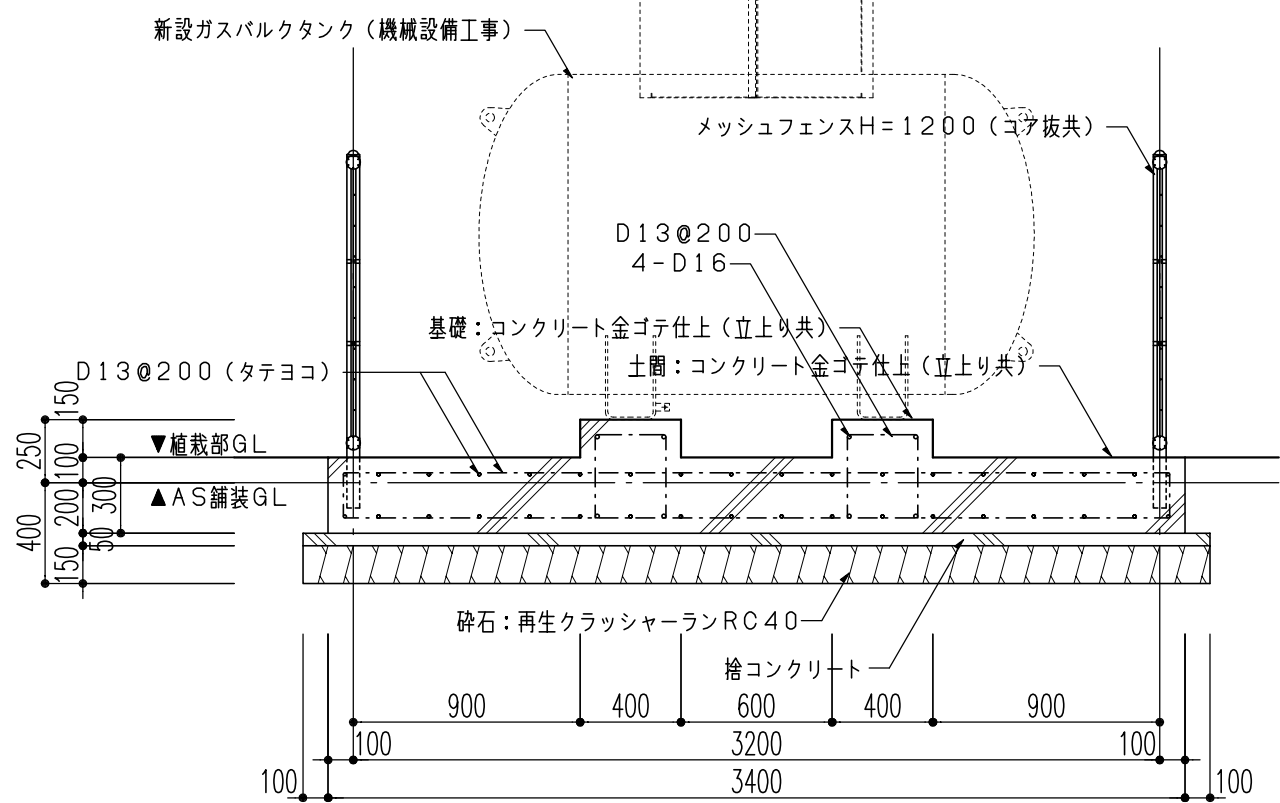
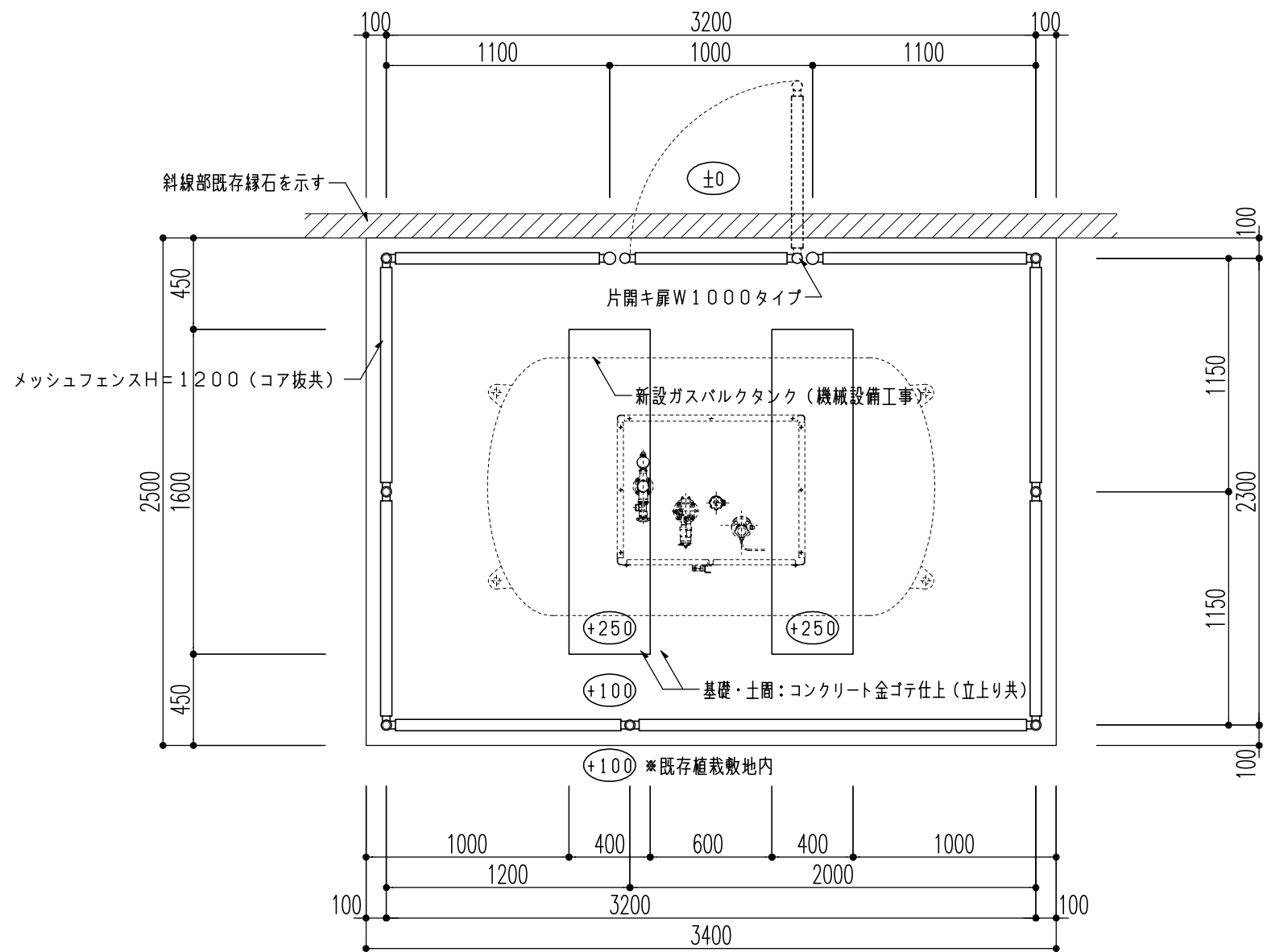


※鉄骨架台の上に防振材設置（機械設備工事）



ガスバルクタンク基礎 詳細図

A2:S=1/30
A4:S=1/60



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録（梨）第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認 設計 担当

縮尺 各図参照

設計年月日

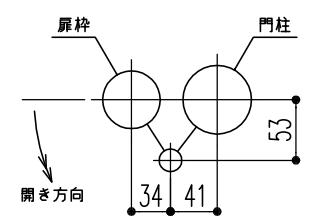
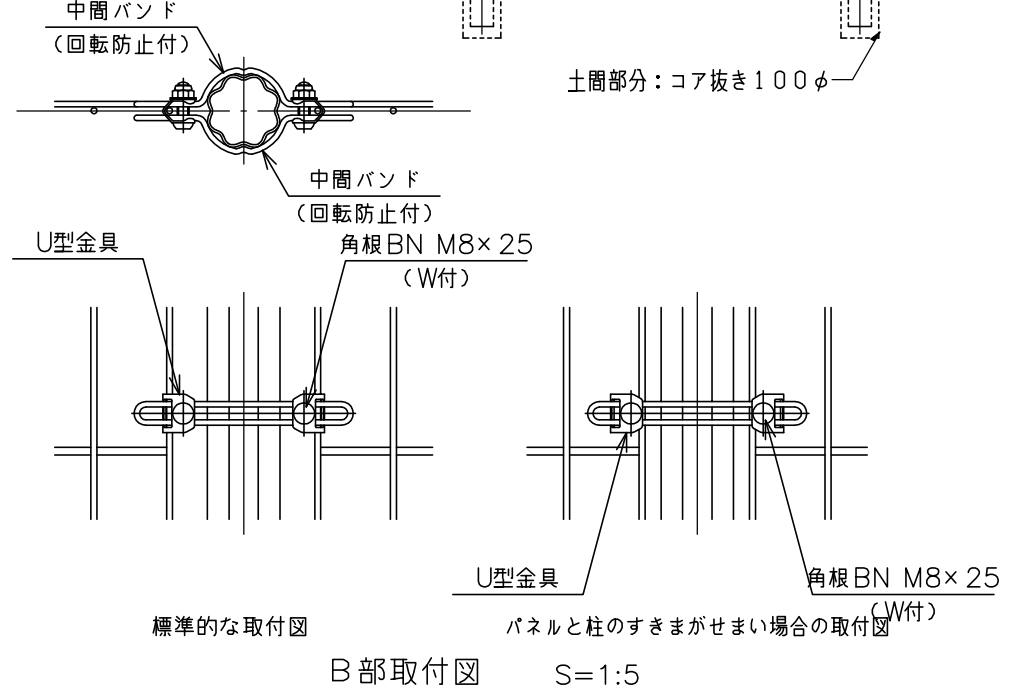
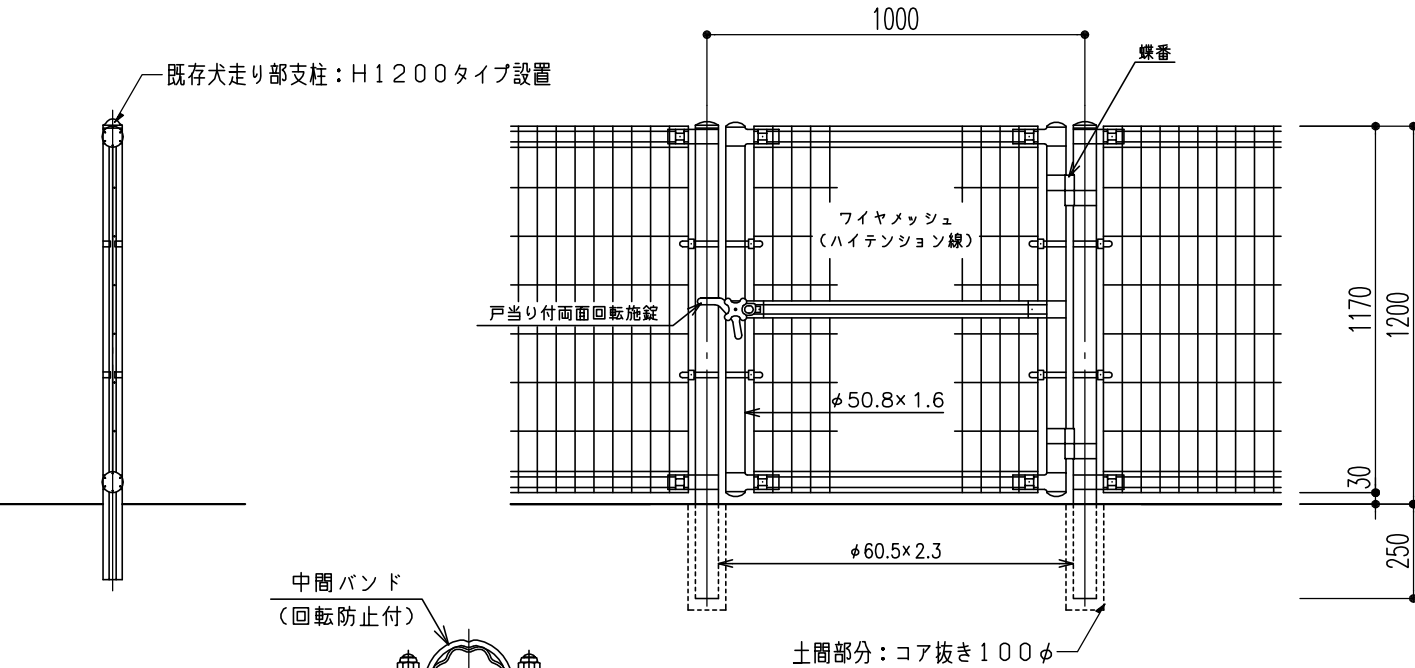
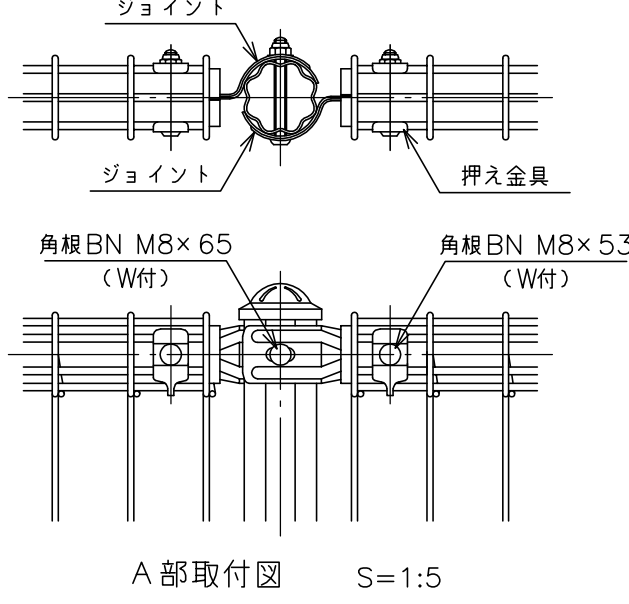
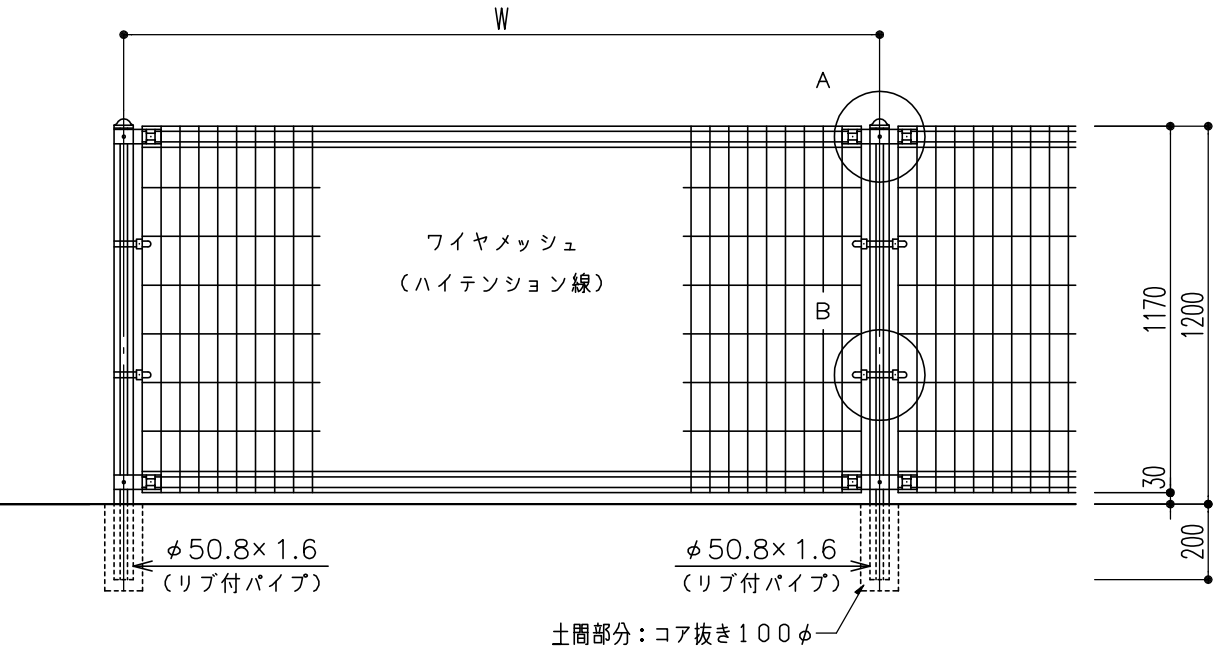
工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 雑詳細図（1）

A-09

No,

メッシュフェンス 詳細図



- 備考
- 外装について
 - 主柱、ジョイント押え金具
 - バンド
 - ワイヤメッシュ
 - U型金具
 - ボルト、ナット

- …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- …溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

- 備考
- 外装について
 - 門柱、枠体
 - ジョイント押え金具
 - バンド
 - ワイヤメッシュ
 - U型金具
 - ボルト、ナット
 - 戸当り付両面回転施設

- …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- …溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
- …溶融亜鉛めっきのみ

2. 本図門扉は片側180°開きとする。

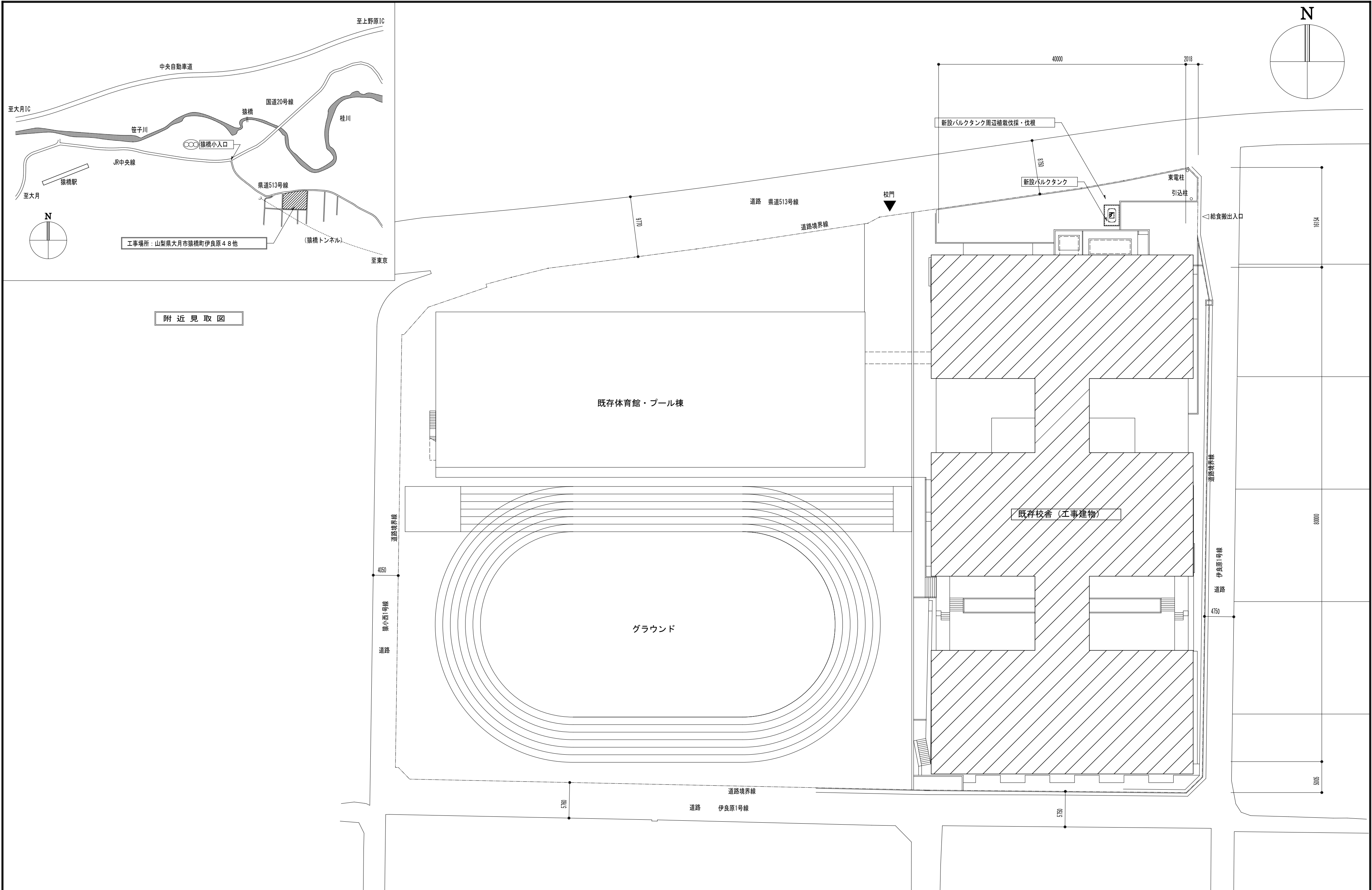


総合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

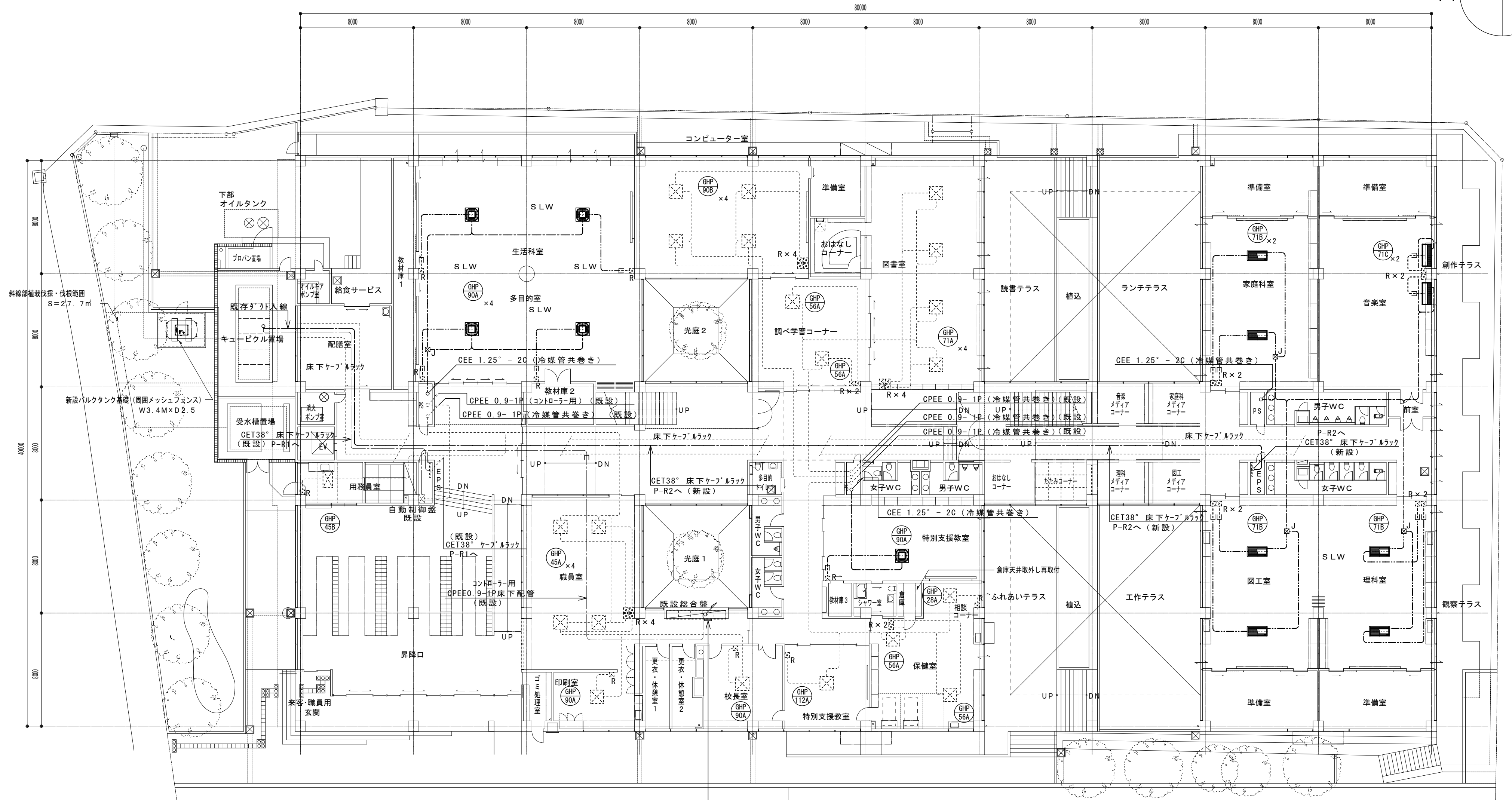
承認	設計	担当

縮尺
A2: 1/20
A4: 1/40
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図
図面名称 雑詳細図(2)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

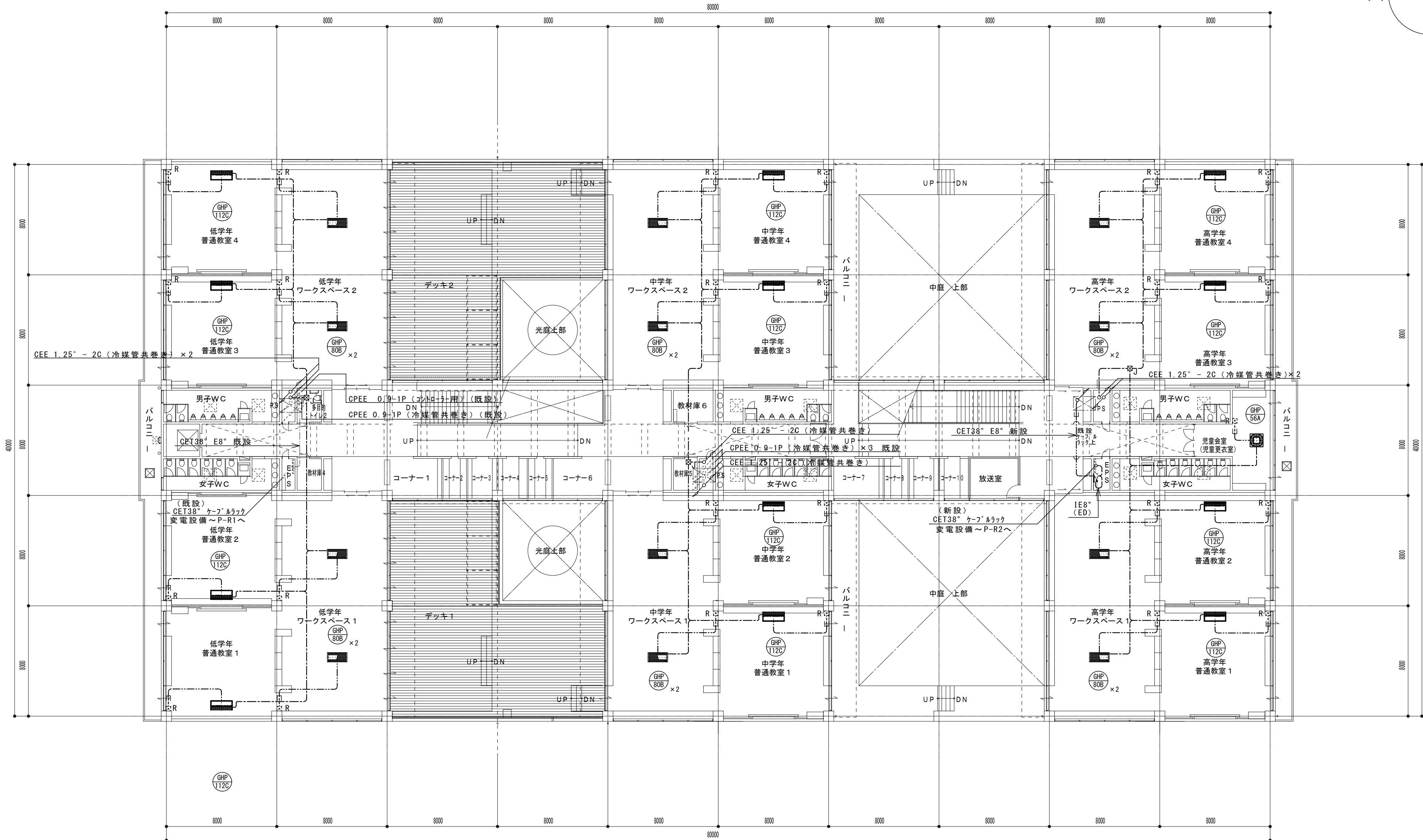
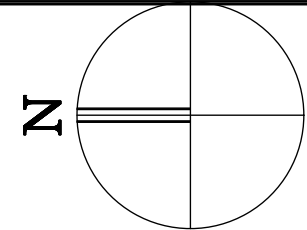


注 記	(特記なきものは下記とする)
-----	CEE 1.25° - 2C 隠べい
-----	CEE 1.25° - 2C (冷媒管共巻き)
-----	CPEE 0.9 - 1P (既設リモン線) 再使用
-----	一種金属線びA型

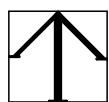
		新規取付空調屋内機
		既設新規交換空調屋内機

		新規取付空調屋内機
		既設新規交換空調屋内機





2 階平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認	設計	担当

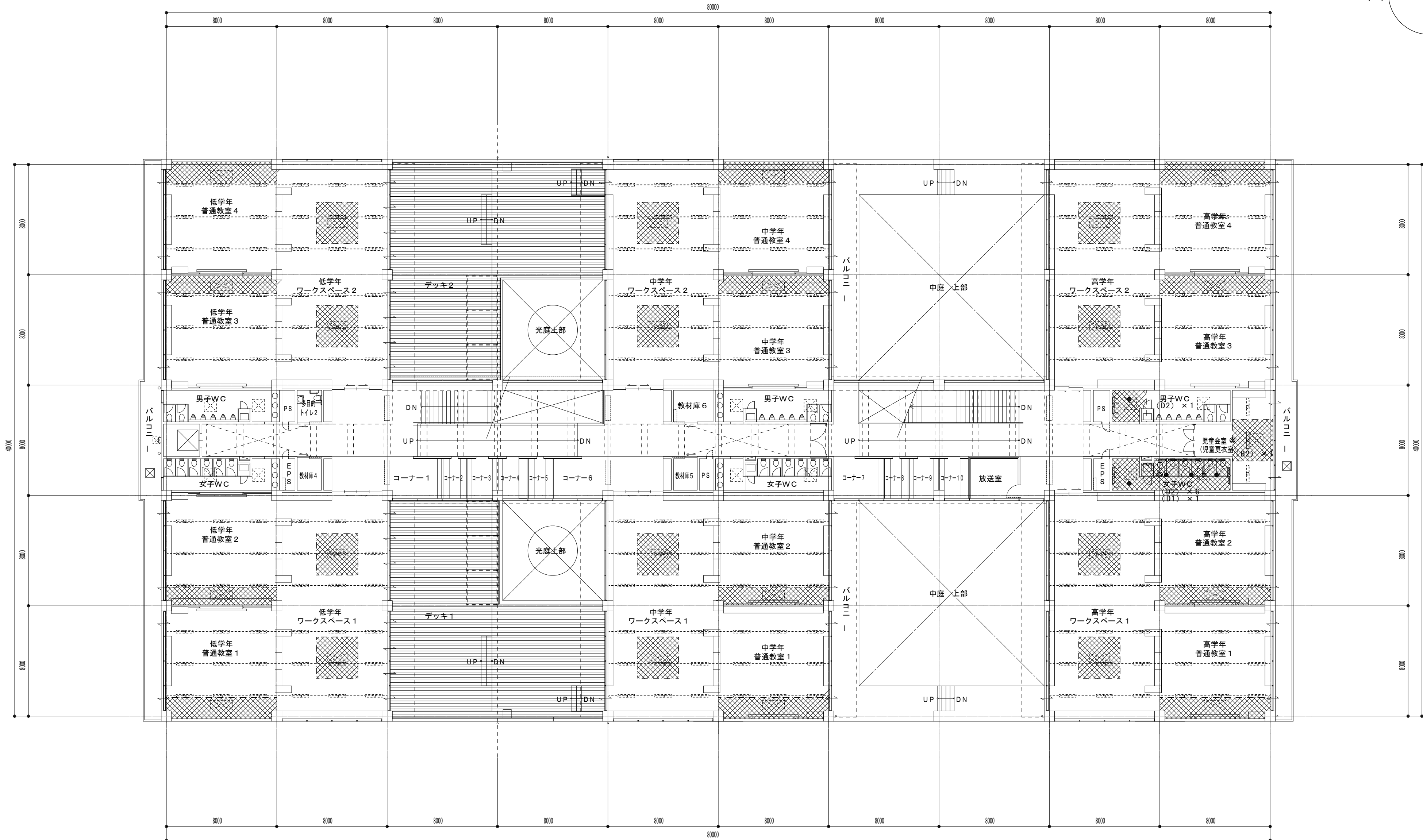
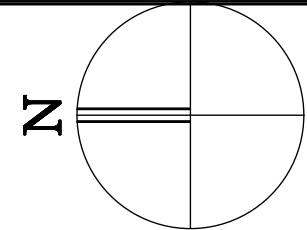
縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 2階電気設備平面図 No1

E- 07

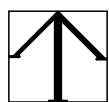
No.



2 階平面図

※照明ボックス内
(既存のまま)

凡 例	
	内部足場設置対象範囲及び養生範囲を示す
	特記箇所既存天井取外し、再取付範囲を示す



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録 (梨) 第 1-29366 号
一級建築士 登録 第 110879 号 小林 一

承認	設計	担当

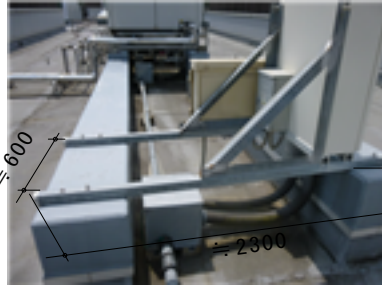
縮 尺
A2 : 1/200
A4 : 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

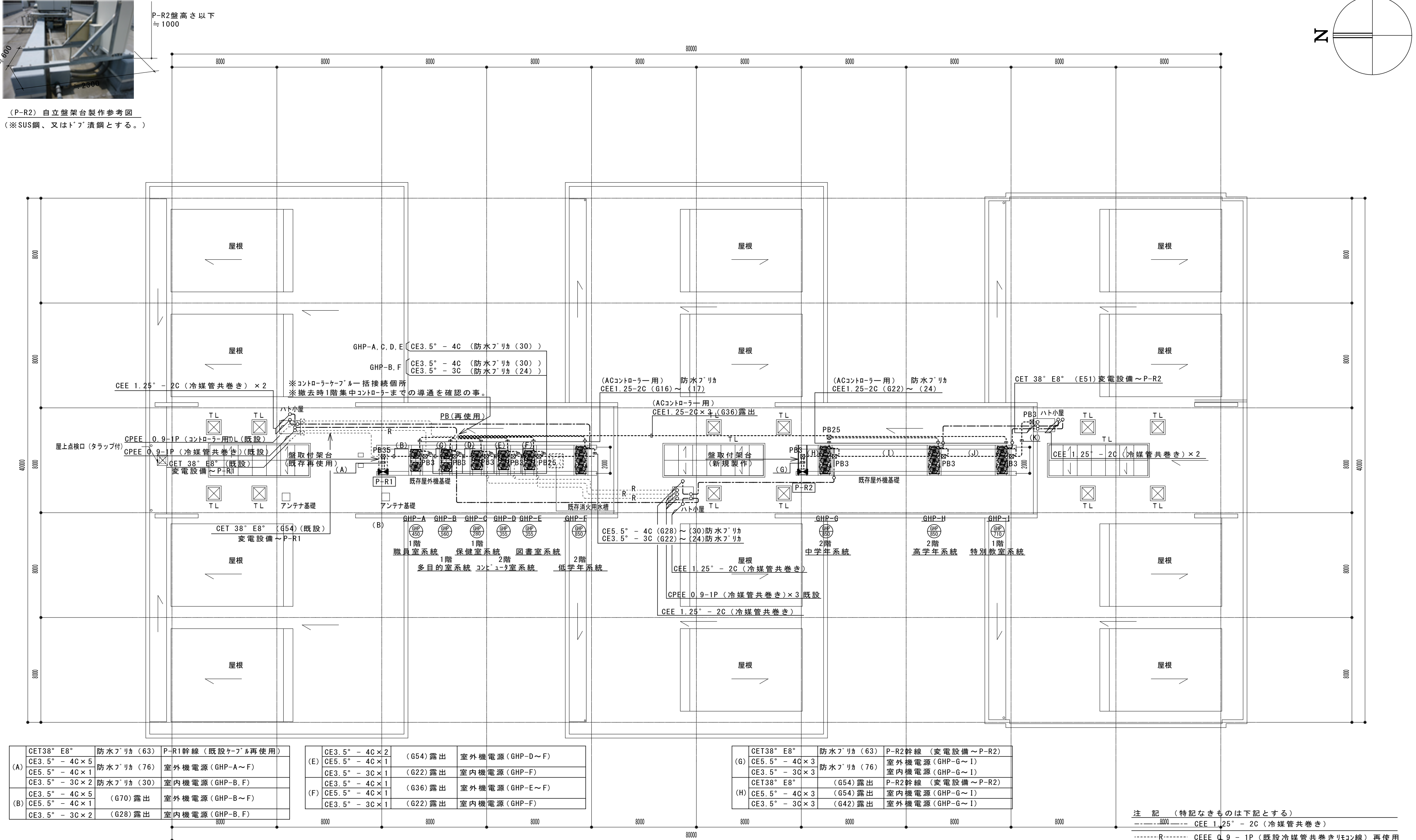
図面名称 既存 2 階電気設備平面図 No2

E- 08

No.



(P-R2) 自立盤架台製作参考図
(※SUS鋼、又はトﾌﾞ漬鋼とする。)



(A)	CET38° E8°	防水ﾌﾞﾘｶ (63)	P-R1幹線 (既設ケーブル再使用)
	CE3.5° - 4C×5	防水ﾌﾞﾘｶ (76)	室外機電源 (GHP-A～F)
	CE5.5° - 4C×1	防水ﾌﾞﾘｶ (30)	室内機電源 (GHP-B、F)
(B)	CE3.5° - 4C×5	(G70)露出	室外機電源 (GHP-B～F)
	CE5.5° - 4C×1	(G28)露出	室内機電源 (GHP-B、F)
	CE3.5° - 3C×2		

(E)	CE3.5° - 4C×2	(G54)露出	室外機電源 (GHP-D～F)
	CE5.5° - 4C×1	(G22)露出	室内機電源 (GHP-F)
	CE3.5° - 3C×1		
(F)	CE3.5° - 4C×1	(G36)露出	室外機電源 (GHP-E～F)
	CE5.5° - 4C×1	(G22)露出	室内機電源 (GHP-F)
	CE3.5° - 3C×1		

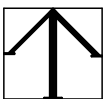
(G)	CET38° E8°	防水ﾌﾞﾘｶ (63)	P-R2幹線 (変電設備～P-R2)
	CE5.5° - 4C×3	防水ﾌﾞﾘｶ (76)	室外機電源 (GHP-G～I)
	CE3.5° - 3C×3		室内機電源 (GHP-G～I)
(H)	CET38° E8°	(G54)露出	P-R2幹線 (変電設備～P-R2)
	CE5.5° - 4C×3	(G42)露出	室内機電源 (GHP-G～I)
	CE3.5° - 3C×3	(G42)露出	室外機電源 (GHP-G～I)

(C)	CE3.5° - 4C×4	(G70)露出	室外機電源 (GHP-B～F)
	CE5.5° - 4C×1		
(D)	CE3.5° - 3C×2	(G28)露出	室内機電源 (GHP-B～F)
	CE3.5° - 4C×3	(G54)露出	室外機電源 (GHP-C～F)
	CE5.5° - 4C×1	(G22)露出	室内機電源 (GHP-D)

(I)	CET38° E8°	(G54)露出	P-R2幹線 (変電設備～P-R2)
	CE5.5° - 4C×2	(G54)露出	室内機電源 (GHP-H～I)
	CE3.5° - 3C×2	(G42)露出	室外機電源 (GHP-H～I)
(J)	CET38° E8°	(G54)露出	P-R2幹線 (変電設備～P-R2)
	CE5.5° - 4C	(G28)露出	室内機電源 (GHP-I)
	CE3.5° - 3C	(G22)露出	室外機電源 (GHP-I)
(K)	CET38° E8°	(G54)露出	P-R2幹線 (変電設備～P-R2)

注 記 (特記なきものは下記とする)
----- R ----- CEE 1.25° - 2C (冷媒管共巻き) 再使用
----- R ----- CEE 0.9 - 1P (既設冷媒管共巻きリモン線) 再使用
露出配管 (コンクリート架台使用)
管種・ケーブル種は図示による。
PB25 SUSPBWP 250×250×250
PB3 SUSPBWP 300×300×300
PB35 SUSPBWP 350×350×350
※既設再使用リモンケーブルはルート確認の上新規接続の事。

2 階平面図



総合建築設計事務所

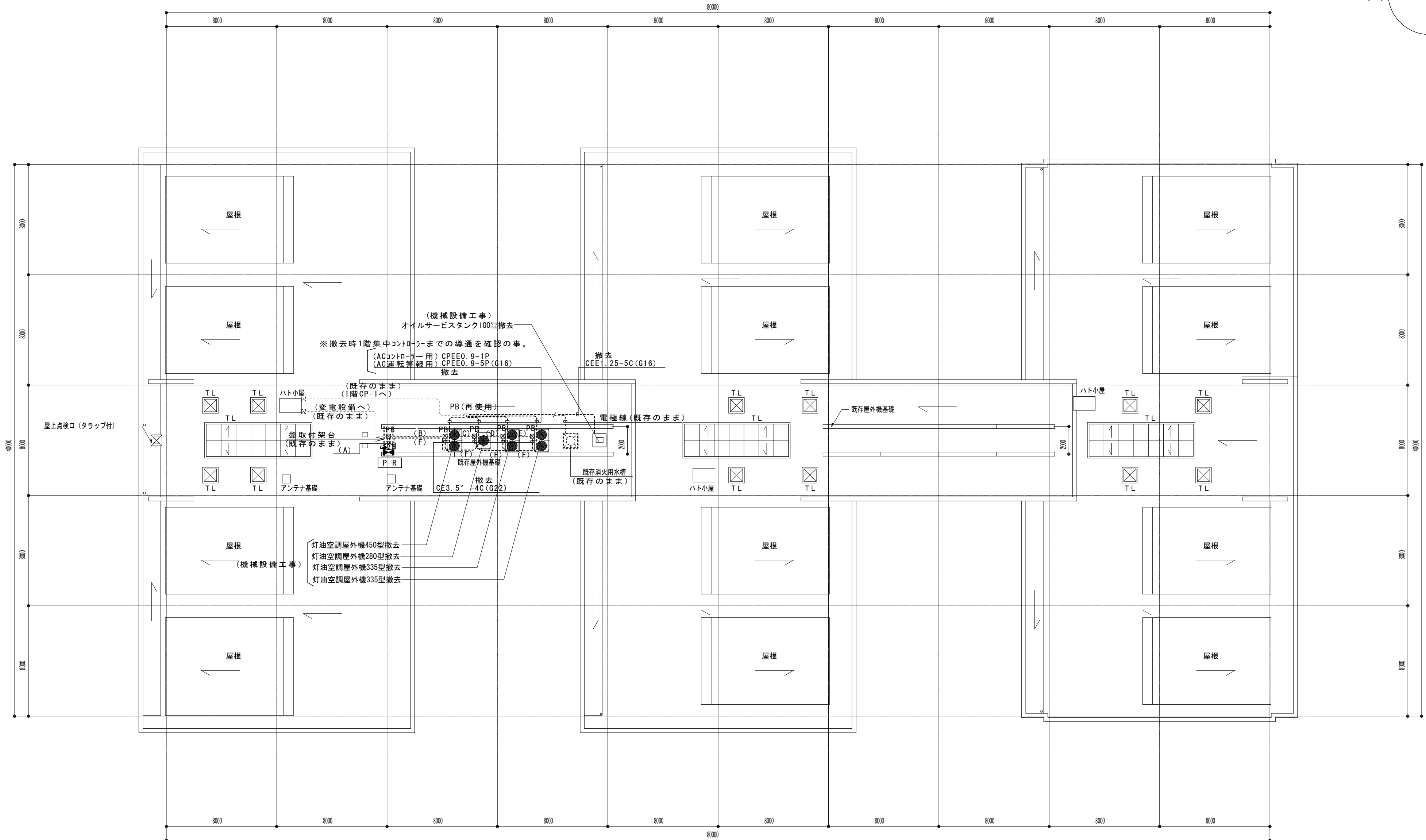
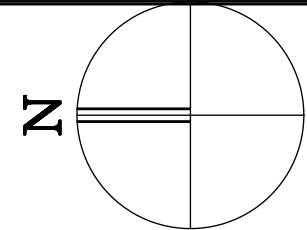
一級建築士事務所 登録(梨)第1-2936号
一級建築士 登録 第110879号 小林 一

承認 設計 担当

縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 屋上電気設備平面図 No1



凡 例

記号	名 称	種 類	摘 要
動力盤	P-R	鋼板製	撤去処分
計装電源ボックス		小型鋼板製	撤去処分
制御ボックス		中型樹脂製	撤去処分
ブルボックス		300° × 300 WP	撤去処分

(A)	CET38° E8°	防水ﾌﾟﾘｶ (63)	防水ﾌﾟﾘｶ (63) 管撤去・ケーブル再使用)
	CE3.5° - 4C×4	防水ﾌﾟﾘｶ (50)	撤去処分
(B)	CE3.5° - 4C×4	(G42)	撤去処分
(C)	CE3.5° - 4C×3	(G36)	撤去処分
(D)	CE3.5° - 4C×2	(G28)	撤去処分
(E)	CE3.5° - 4C×1	(G22)	撤去処分
(F)	CPEE0.9 - 1P	(PF16)	撤去処分

2 階平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

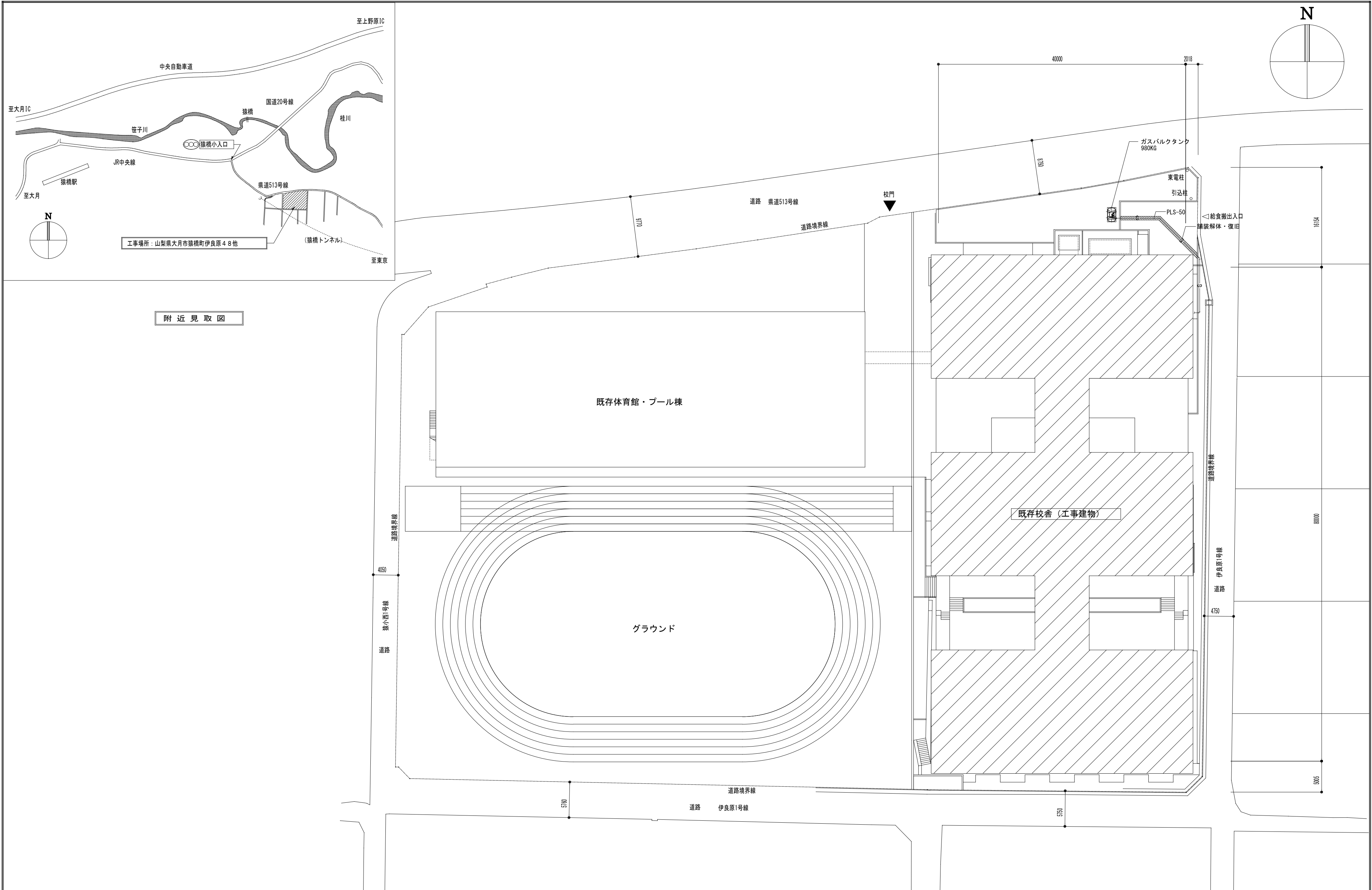
承認	設計	担当

縮尺	A2: 1/200 A4: 1/400
設計年月日	

工事名称	猿橋小学校 空調設備工事 設計図
図面名称	既存 屋上電気設備平面図 No2

猿橋小学校 空調設備工事		工事設計図			
仕様書					
Ⅰ. 工事概要					
1. 工事場所 山梨県大月市猿橋町伊良原48					
2. 建物概要					
建 物 名 称		構 造	階 数	対象棟 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一
校舎棟		ＲＣ造	地上2階		
(備考中の特定の施設、一般の施設とは耐震安全性の分類を示す。)					
3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)					
建物別及び屋外 工事種目		屋 内	屋 外	工 事 種 別	
● 冷暖房設備		一式			
○ 換気設備					
○ 排煙設備					
○ 自動制御設備					
○ 衛生器具設備					
○ 給水設備					
○ 排水設備					
○ 給湯設備					
○ 消火栓設備					
○ 厨房機器設備					
○ ガス設備					
○ 排水処理設備					
○ 床暖房設備					
○ 脱臭設備					
○ 既設撤去工事					
○					
4. 指定部分 ●無 ○有 (工期：平成 年 月 日)					
5. 設備概要					
校舎棟2,3階普通教室等(11室)にエアコンを設置する。					
校舎棟1階職員室・理科室等に(7室)にエアコンを設置する。					
増築棟1,2階会議室・園工生活科室・多目的室(3室)にエアコンを設置する。					
Ⅱ. 工事仕様					
1. 共通仕様					
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(最新版(機械設備工事編))及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図(最新版(機械設備工事編))による。					
(2) 電気設備工事及び建築工事については、各工事の特記仕様書(別紙)による。					
2. 特記仕様					
章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。					
章	項 目	特 記 事 項			
● 一般設備事項	● 機材等	設備機材等は、標準仕様書にあるJIS及びJAS等の基準に該当するものとし、それ以外のものは、一般社団法人公共建築協会発行の設備機材等評価名簿(最新版)による。上記によらない場合は、監督職員と協議すること。			
	● 工事用電力・水・その他 ● 工事用仮設備 ● 足場・さん橋類 ● 残土処分 ● 電気主任技術者 ● 埋め戻し土・盛土 ● 工事写真 ● 総合調整	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。 構内につくることが ●できる ○できない ●本工事で設置とする。 ●改修標準仕様書第1編2.2.1による。 ●場外処分とする。 ●受変電設備などの改修について、施設側で既に契約している電気主任技術者の立会い(確認)を行うこと。 ●根切り土の中の良質土 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改定第3訂版)建築設備編」による。 ●本工事(調整項目は下記のものとする。) ●室内外空気の湿湿度の測定(室の中心付近) ●騒音の測定 ●機器メーカーによる機能確認を全系統において実施すること。 ●室内湿湿度の変動を温度・湿度データロガーを用いて確認すること。(6室程度)			
	● 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 設備機器の固定等は、すべて「建築設備・耐震設計・施工指針(〔財〕日本建築センター：2005年度版)」により行う。ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度KH及び設計用鉛直震度KV(KH/2)を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。			
	● 耐震措置				
設計用水平震度					
設置場所		耐震安全性の分類			
		特定の施設		一般の施設	
上層階 屋上及び塔屋		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
		2.0	1.5	1.5	1.0
中間階		(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
		<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
1階及び地下階		1.5	1.0	1.0	0.6
		(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
		1.0	0.6	0.6	0.4
		(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
(注)()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 <>内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は、上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し) ●既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、ダイヤモンドカッターを用いる。 ●コアはつりは事前に鉄筋探査を行うこと。 施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 (●屋外 ○地下ピットトレンチ)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。 ●改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。 ●(屋内)配管配線ルート及び機器類設置箇所の状況(天井フトコロ具合、スペース) ●(屋外)屋外機、バルクタンク設置箇所及び地中埋設管ルートの調査(地中障害物の有無) (屋外機設置箇所が建物屋上部の場合は、躯体及び防水層状況) (1)大月市役所建設課【工事関係提出書類一覧表】【完成図書作成・提出要領】 本工事は電子納品対象工事とする。 ●電子納品の範囲は、工事写真及び営繕課「完成図書作成・提出要領」による。但し、山梨県県土整備部営繕課電子納品要領(最新版)に準拠する必要はない。 ※設計図CADデータは貸与する。 ※貸与するCADデータを当該工事における施工図又は完成図作成の為に以外に使用してはならない。 (1) 機器はグリーン購入法適合品とする。 (2) 暴力団等から不当要求及び工事妨害の排除 1) 請負者は、工事施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 2) この場合に措いて、工程等を変更せざるを得なくなった時は、速やかに発注者と協議すること。 3) 請負者が1)の報告を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき指名停止措置を行うこととする。 (3) 1) 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。 2) 請負者は、果が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 (4) 廃棄物の県内最終処分場での優先処理 1) 請負者は、本工事でリサイクル出来ない廃棄物(中間処理施設へ持ち込めない物)は、県内最終処分場での優先処理に努めるものとする。 2) 請負者は、本工事で1)で処理する廃棄物及びメーカー等が回収する廃棄物以外の廃棄物は県内中間処理施設での優先処分に努めるものとする。 (5) 下請施工体系図の作成及び提出 「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた「下請施工体系図」を作成し、遺憾・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、延滞なく監督員へ提出するものとする。また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、延滞なく監督員へ提出するものとする。 なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。 (6) 工事施工に必要な官公庁その他への手続きは、請負者の負担において延滞なく行うこと。 ●騒音防止法に関わる「特定施設設置届出書」を着工30日前までに届け出る事。 ●エネルギーの使用の合理化に関する法律による届出書 ●液化石油ガス法に基づく「液化石油ガス設備工事届」を工事完了後延滞なく届ける事。 (7) 舗装版切断時に発生する濁水処理 ●舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表(マニフェスト)により適正に処理し、監督員に提示するものとする。 現場条件等により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。 (8) 低騒音型建設機械の使用 ●本工事において、原則「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(昭和62年3月30日建設省経機第58号)」に基づき、低騒音型建設機械を使用する。 なお、低騒音型建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程(平成9年建設省告示第1536号最終改正平成20年国土交通省告示第361号)」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。 また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。					
● 撤去内容		●撤去内容は図示による。			
● 発生材の処分方法		● 撤去した物は産業廃棄物処分とする。 ● 撤去した学校備品(扇風機等)は学校側に返納する。			
● 凡 例 ・ 配 管 材 料	冷 媒 管 — R —	保温付被覆銅管 JIS-H-3300 保温厚 ガス管20mm以上 液管10mm以上 (液管φ9.5以下は8mm以上としても良い)			
	ドレン管 — D —	(天井内) 硬質塩化ビニル管 JIS-K-6742 VP			
	ドレン管 — D —	(屋内露出)			

記 号	名 称		参 考 型 番	数 量	仕 様		電 源 (参考値)			設 置 場 所	備 考		
							φ	V	W KW				
GHP-850	ガ`スマルチエアコン室外機	YGZP850K1PB (ヤンマー)	3	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 85.0 kW 90.0 kW φ31.80×φ19.10 2.100W×800D×2.150H 3.612m3 1.090.0 Kg 301.772kg/m3 分岐管及び標準付属品	86.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.702 kW (冷房時) 0.571 kW (暖房時)	校舎屋上	2 階高学年系統 2 階中学年系統 2 階低学年系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-710	ガ`スマルチエアコン室外機	YGZP710K1PB (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 71.0 kW 80.0 kW φ31.80×φ19.10 2.100W×800D×2.150H 3.612m3 1.090.0 Kg 301.772kg/m3 分岐管及び標準付属品	84.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.597 kW (冷房時) 0.573 kW (暖房時)	校舎屋上	1 階特別教室系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-560	ガ`スマルチエアコン室外機	YGZP560K1PB (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 56.0 kW 63.0 kW φ28.60×φ15.90 1.690W×800D×2.150H 2.907m3 890.0 Kg 306.158kg/m3 分岐管及び標準付属品	80.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.126 kW (冷房時) 0.125 kW (暖房時)	校舎屋上	多目的室系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-450	ガ`スマルチエアコン室外機	YGZP450K1PB (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 45.0 kW 50.0 kW φ28.60×φ12.70 1.690W×800D×2.150H 2.907m3 890.0 Kg 306.158kg/m3 分岐管及び標準付属品	80.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.133 kW (冷房時) 0.132 kW (暖房時)	校舎屋上	職員室系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-355	ガ`スマルチエアコン室外機	YNZP355K1PB (ヤンマー)	2	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 45.5 kW 50.0 kW φ25.40×φ12.70 1.470W×800D×2.150H 2.528m3 680.0 Kg 268.98kg/m3 分岐管及び標準付属品	76.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.683 kW (冷房時) 0.682 kW (暖房時)	校舎屋上	図書室系統 コンピューター室系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-280	ガ`スマルチエアコン室外機	YNZP280K1PB (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法 参考重量・騒音 付 属 品	ガスヒートポンプマルチエアコン 28.0 kW 31.5 kW φ22.20×φ9.50 1.470W×800D×2.150H 2.528m3 680.0 Kg 268.98kg/m3 分岐管及び標準付属品	74.0 dB(A)	※1	φ	V	W KW 0.602 kW (冷房時) 0.583 kW (暖房時)	校舎屋上	保健室系統	コンクリート基礎 既存 (鉄骨架台建築工事)
GHP-112A	マルチエアコン室内機	YZCP112MJ (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 11.2 kW 12.5 kW φ15.9×φ9.5 840W×840D×246H 27.5kg			1	1	200 200	0.128 kW (冷房時) 0.110 kW (暖房時)	1階特別支援教室 (会議室)	
GHP-90A	マルチエアコン室内機	YZCP90MJ (ヤンマー)	11	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 9.0 kW 10.0 kW φ15.9×φ9.5 840W×840D×246H 26.5kg			1	1	200 200	0.128 kW (冷房時) 0.110 kW (暖房時)	1階印刷室*1 1階校長室*1 1階特別支援教室*1 1階多目的室*4 1階コンピューター室*4	
GHP-71A	マルチエアコン室内機	YZCP71MJ (ヤンマー)	4	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 7.1 kW 8.0 kW φ15.9×φ9.5 840W×840D×246H 25.5kg			1	1	200 200	0.072 kW (冷房時) 0.068 kW (暖房時)	1階図書室*4	
GHP-56A	マルチエアコン室内機	YZCP56MJ (ヤンマー)	5	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 5.6 kW 6.3 kW φ12.7×φ6.4 840W×840D×246H 24.5kg			1	1	200 200	0.052 kW (冷房時) 0.038 kW (暖房時)	1階調べ学習コーナー*2 1階保健室*2 2階児童会室	
GHP-45A	マルチエアコン室内機	YZCP45MJ (ヤンマー)	4	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 4.5 kW 5.0 kW φ12.7×φ6.4 840W×840D×246H 24.5kg			1	1	200 200	0.047 kW (冷房時) 0.034 kW (暖房時)	1階職員室*4	
GHP-28A	マルチエアコン室内機	YZCP28MJ (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 4 方向吹出 2.8 kW 3.2 kW φ12.7×φ6.4 840W×840D×246H 24.5kg			1	1	200 200	0.033 kW (冷房時) 0.027 kW (暖房時)	1階相談コーナー*1	
GHP-80B	マルチエアコン室内機	YZWP80M (ヤンマー)	12	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 2 方向吹出 8.0 kW 9.0 kW φ15.9×φ9.5 1.175W×600D×305H 44.5kg			1	1	200 200	0.151 kW (冷房時) 0.118 kW (暖房時)	2階高学年ワークスバス*2*2 2階中学年ワークスバス*2*2 2階低学年ワークスバス*2*2	
GHP-71B	マルチエアコン室内機	YZWP71M (ヤンマー)	6	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 2 方向吹出 7.1kW 8.0 kW φ15.9×φ9.5 1.175W×600D×305H 44.5kg			1	1	200 200	0.131 kW (冷房時) 0.085 kW (暖房時)	1階家庭科室*2 1階図工室*2 1階理科室*2	
GHP-45B	マルチエアコン室内機	YZWP45M (ヤンマー)	1	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天井カセット型 2 方向吹出 4.5 kW 5.0 kW φ12.7×φ6.4 990W×600D×305H 39.5kg			1	1	200 200	0.118 kW (冷房時) 0.036 kW (暖房時)	1階用務員室	
GHP-112C	マルチエアコン室内機	YZHP112M (ヤンマー)	12	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管 参考寸法	天吊型 11.2 kW 12.5 kW φ15.9×φ9.5 1.400W×680D×195H 33.0kg			1	1	200 200	0.173 kW (冷房時) 0.173 kW (暖房時)	2階高学年教室*2*2*1 2階中学年教室*2*2*1 2階低学年教室*2*2*1	
GHP-71C	マルチエアコン室内機	YZHP71M (ヤンマー)	2	形 式 冷房能力 暖房能力 冷媒配管	天井カセット型 4 方向吹出 7.1 kW 8.0 kW φ15.9×φ9.5 1.160W×680D×195H 28.0kg			1	1	200 200	0.103 kW (冷房時) 0.103 kW (暖房時)	1階音楽室*2	
CS-1	集中管理リモコン	集中管理コントローラ	LS302C1 (ヤンマー)	1	制御内容	運転許可/禁止、各室毎運転表示、温度設定、消し忘れ防止タイマー、一括停止 タイマー設定 (学年毎) 集中管理コントローラ (180W×16D×120H) ON/OFFコントローラ (120W×16D×120H) スケジュールタイマー (120W×16D×120H)		1	100	10 W	事務室		
		ON/OFFコントローラ	LF301B1 (ヤンマー)	3	参考寸法								
		スケジュールタイマー	LT301B1 (ヤンマー)	1									
※1： 定格騒音（音響パワーレベル）は、JIS B 8627に基づいた値 ※2： JIS規格に準拠し無響室にて測定した値とする。 ※3： 正面前方 1 m・下方 1 mにおける値とする ※4： 冷房、及び暖房能力及び電気容量はJISB8627条件にて運転した値とする。 冷房能力:室内側吸込温度27℃DB、19℃WB、室外側吸込空気温度35℃DB 暖房能力:室内側吸込温度20℃DB、室外側吸込空気温度7℃DB、6℃WB													
				総合建築設計事務所				縮 尺 A2：1／200 A4：1／400 設計年月日		工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図 図面名称 機 器 表			M- 02 No.
一級建築士事務所 登 録（梨）第 1－29366 号 一 級 建 築 士 登 録 第 110879 号 小林 一													



附 近 見 取 図



綜 合 建 築 設 計 事 務 所

一級建築士事務所 登 録 (梨) 第 1 - 29366 号
一 級 建 築 士 登 録 第 110879 号 小 林 -

承 認 設 計 担 当

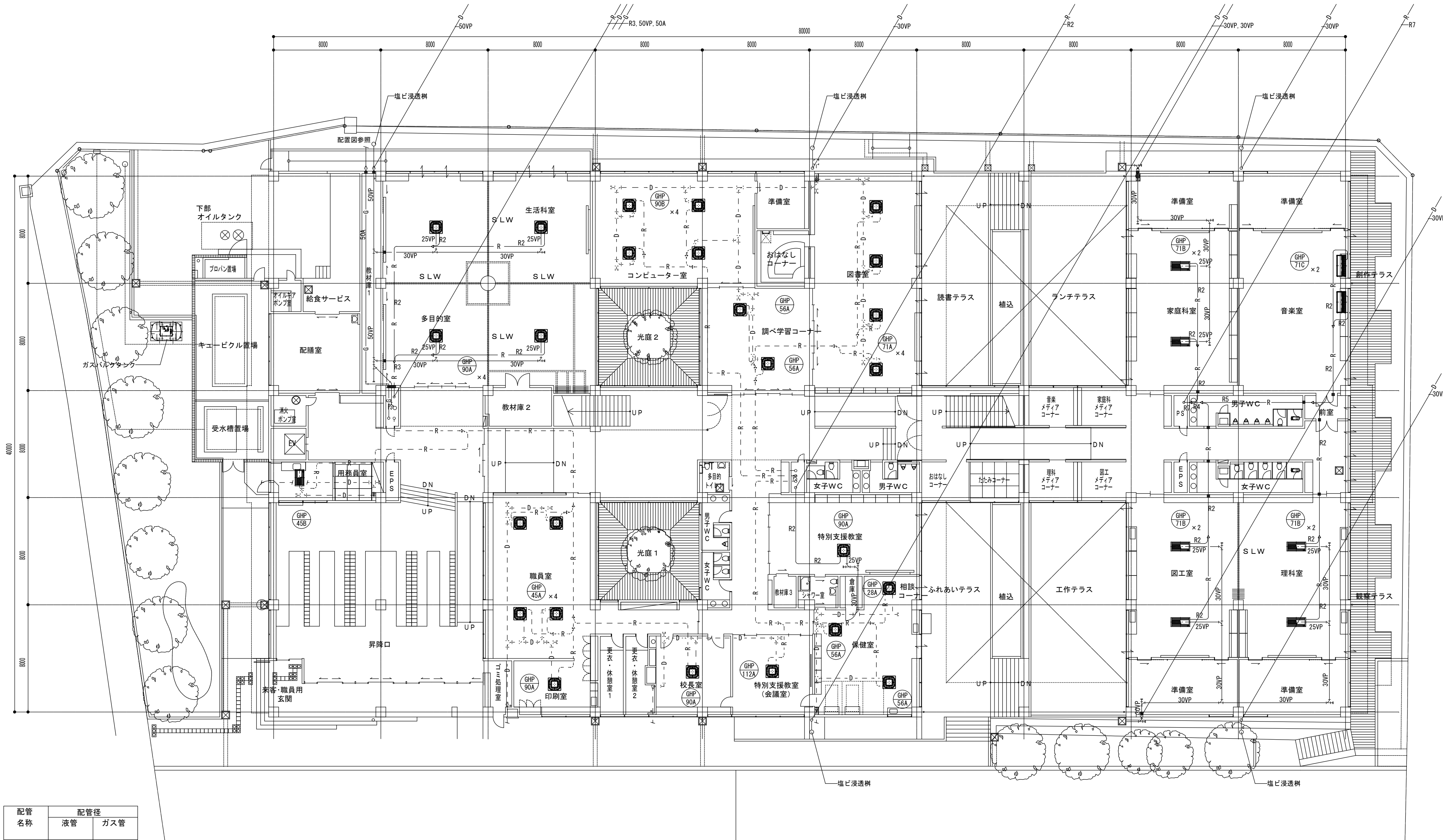
縮 尺
A2 : 1 / 400
A4 : 1 / 800
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 配置図・附近見取図

M- 04

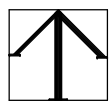
No.



配管 名称	配管径	
	液管	ガス管
R1	φ19.1	φ31.8
R2	φ9.5	φ15.9
R3	φ15.9	φ28.6
R4	φ12.7	φ28.6
R5	φ9.5	φ22.2
R6	φ6.4	φ12.7
R7	φ15.9	φ31.8

1 階平面図

※ 〇 コンクリートコア穴明か所
※ ● 区画貫通処理箇所



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林一

承認	設計	担当

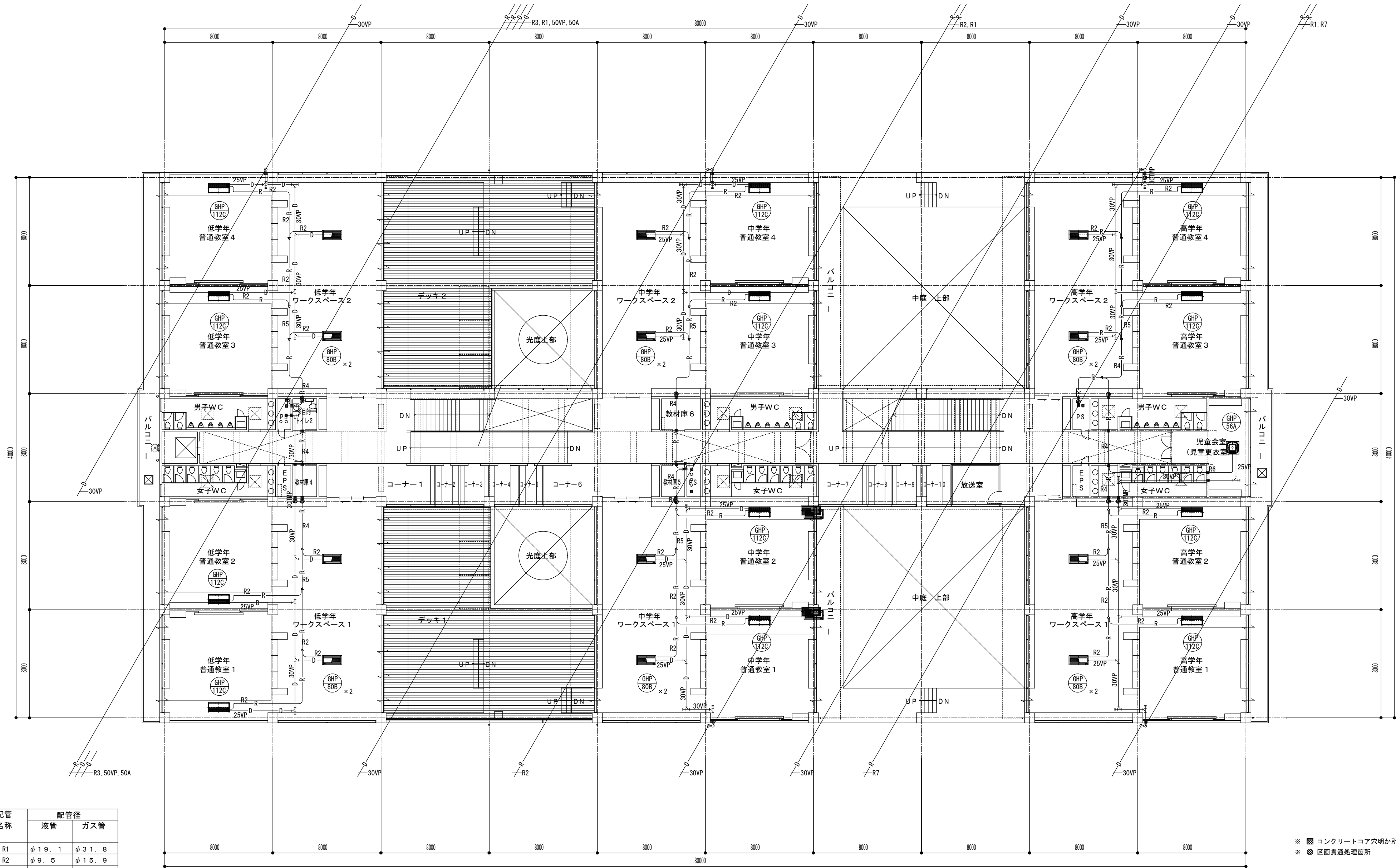
縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 1 階平面図

M- 05

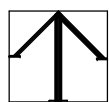
No.



2 階平面図

配管 名称	配管径	
	液管	ガス管
R1	φ19.1	φ31.8
R2	φ9.5	φ15.9
R3	φ15.9	φ28.6
R4	φ12.7	φ28.6
R5	φ9.5	φ22.2
R6	φ6.4	φ12.7
R7	φ15.9	φ31.8

※ 〇 コンクリートコア穴明か所
※ ● 区画貫通処理箇所



綜合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

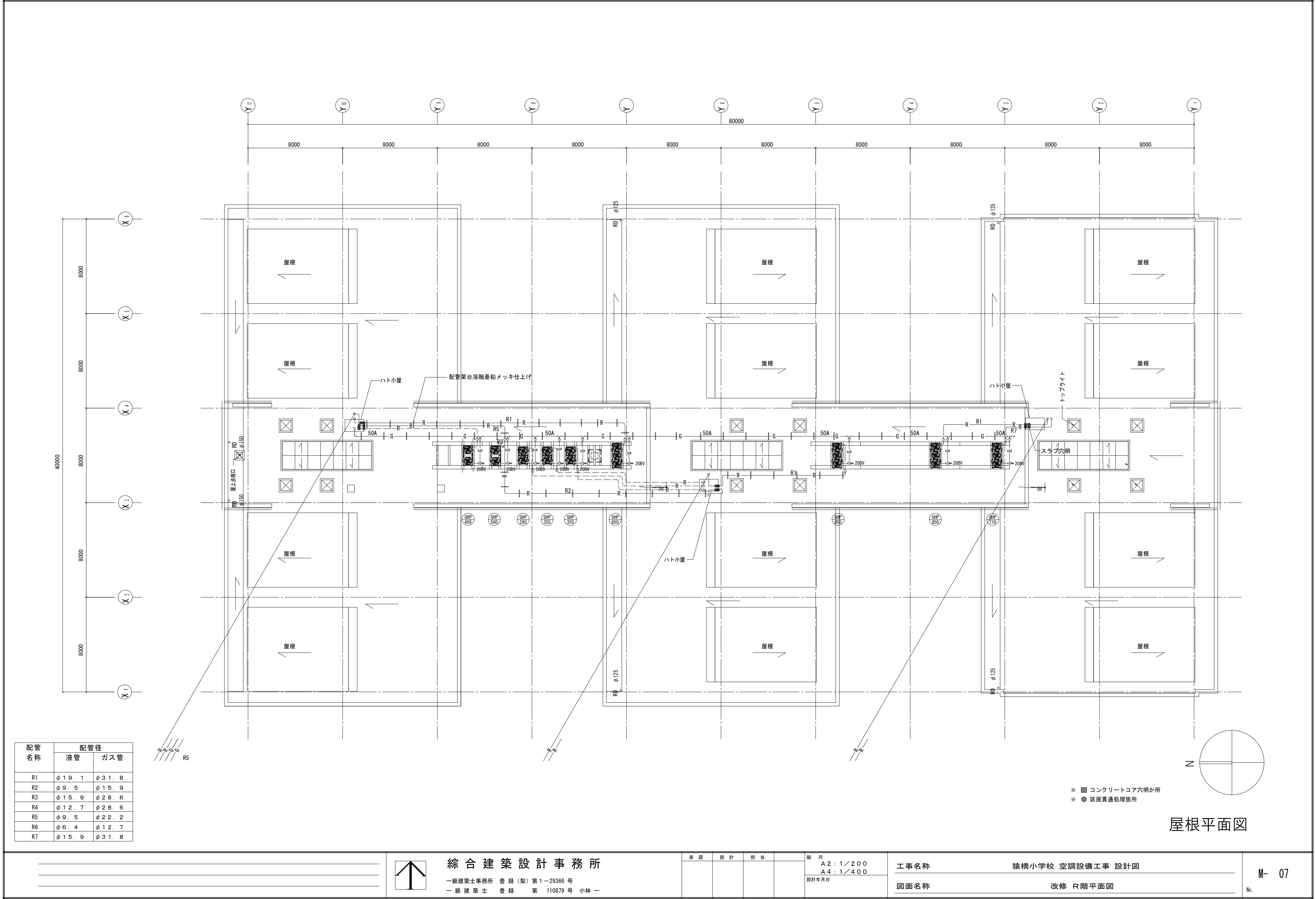
縮尺
A2:1/200
A4:1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 2 階平面図

M- 06

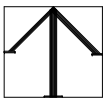
No.



配管 名称	配管径	
	液管	ガス管
R1	φ19.1	φ31.8
R2	φ9.5	φ15.9
R3	φ15.9	φ28.6
R4	φ12.7	φ28.6
R5	φ9.5	φ22.2
R6	φ6.4	φ12.7
R7	φ15.9	φ31.8

※ 図 コンクリートコア穴明か所
※ 区画貫通処理箇所

屋根平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(契)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認 設計 担当

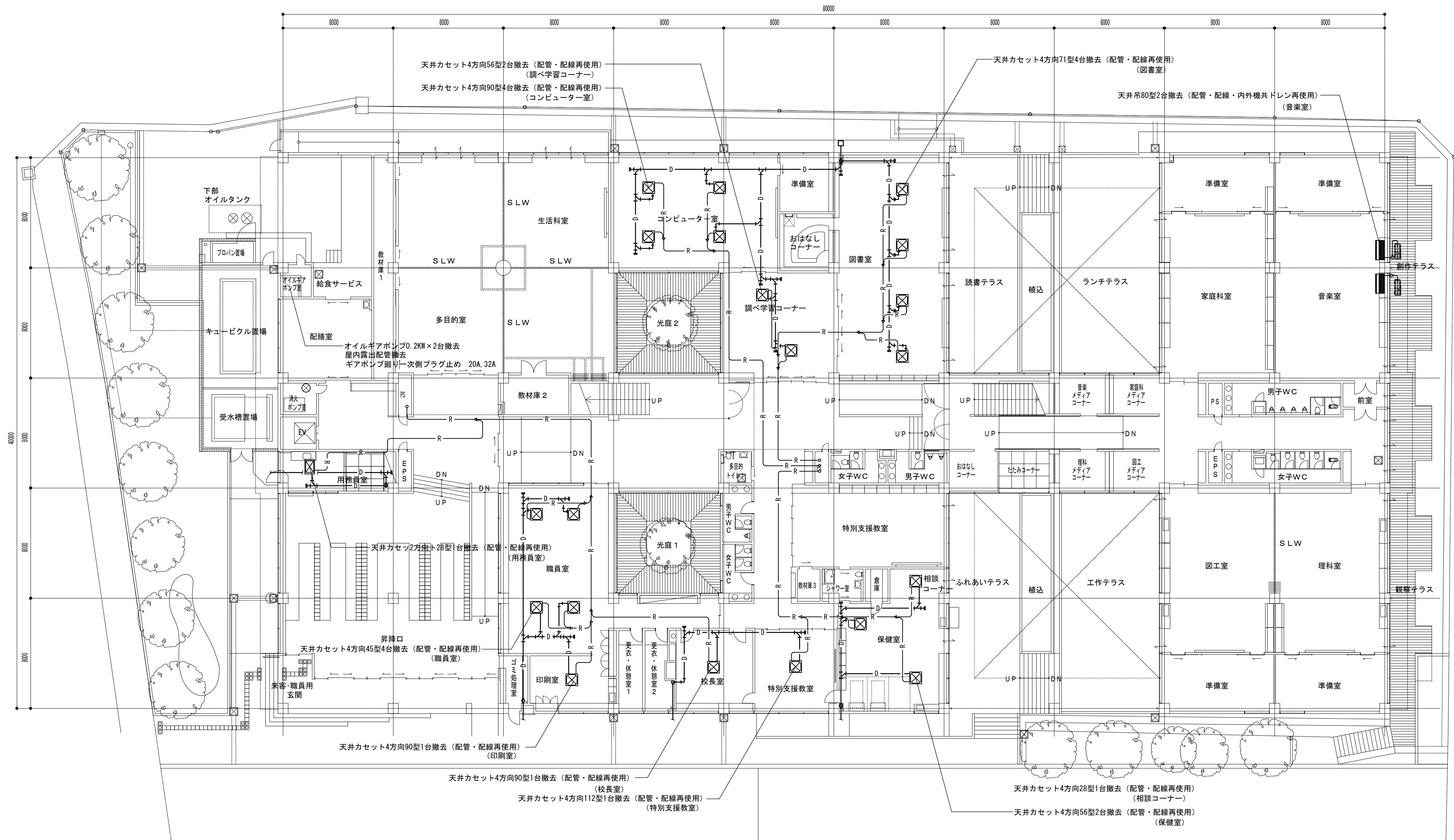
縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

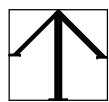
図面名称 改修 R階平面図

M- 07

No.



1 階平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(契)第1-29366号 小林
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

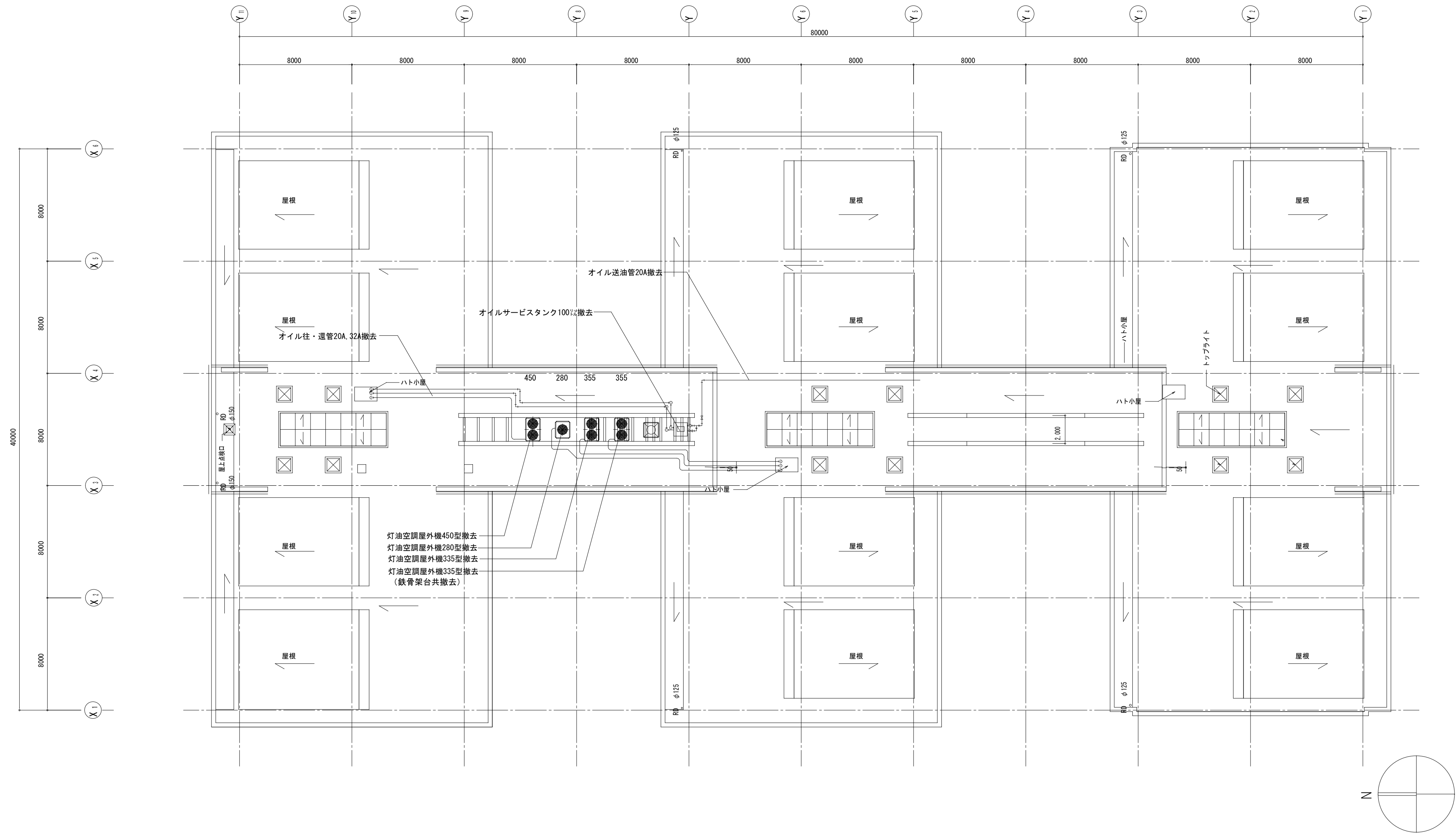
縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

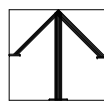
図面名称 既存改修・撤去 1階平面図

M- 08

No.



屋根平面図



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認 設計 担当

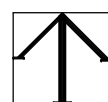
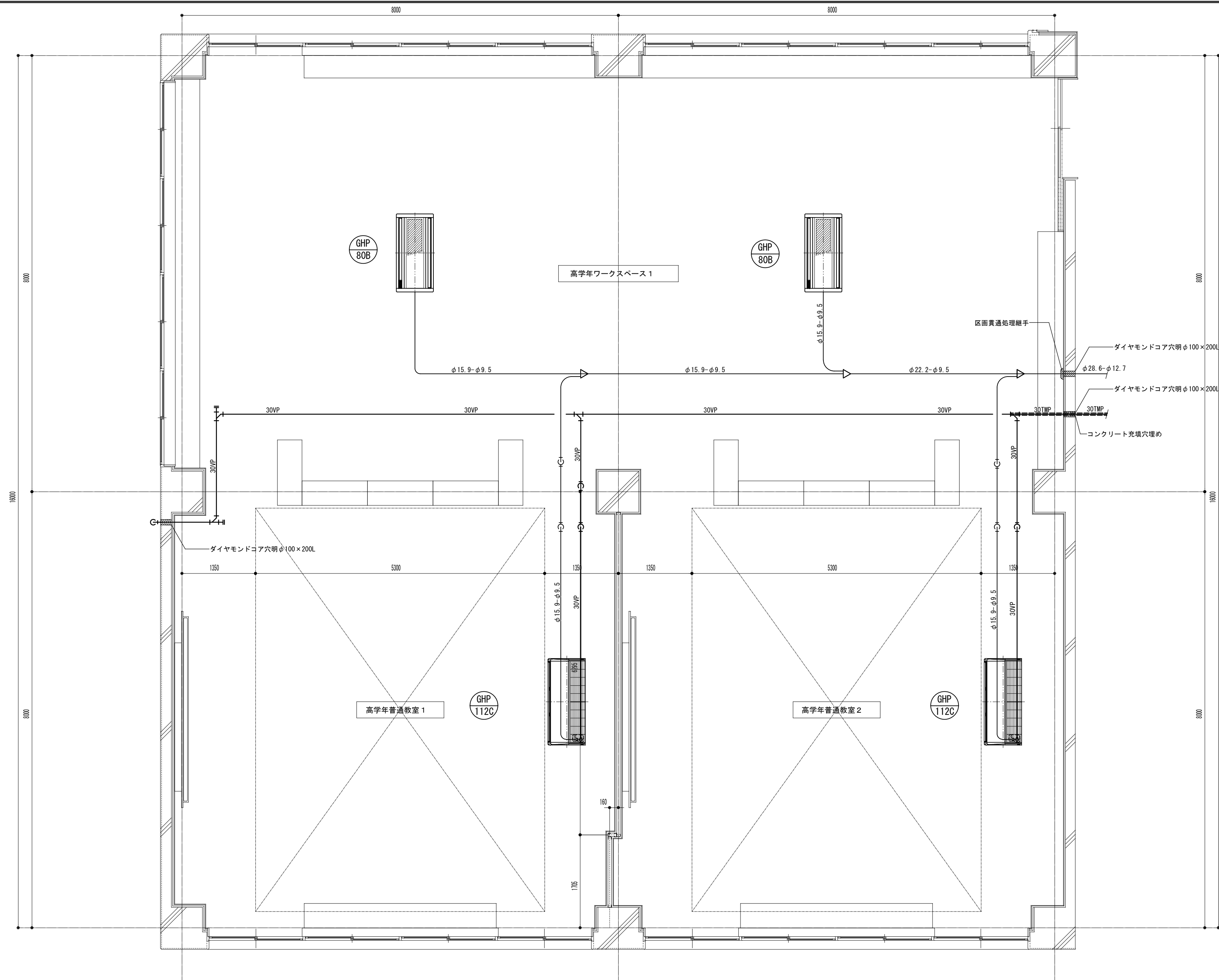
縮尺
A2: 1/200
A4: 1/400
設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 改修 R 階平面図

M- 09

No.



総合建築設計事務所

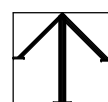
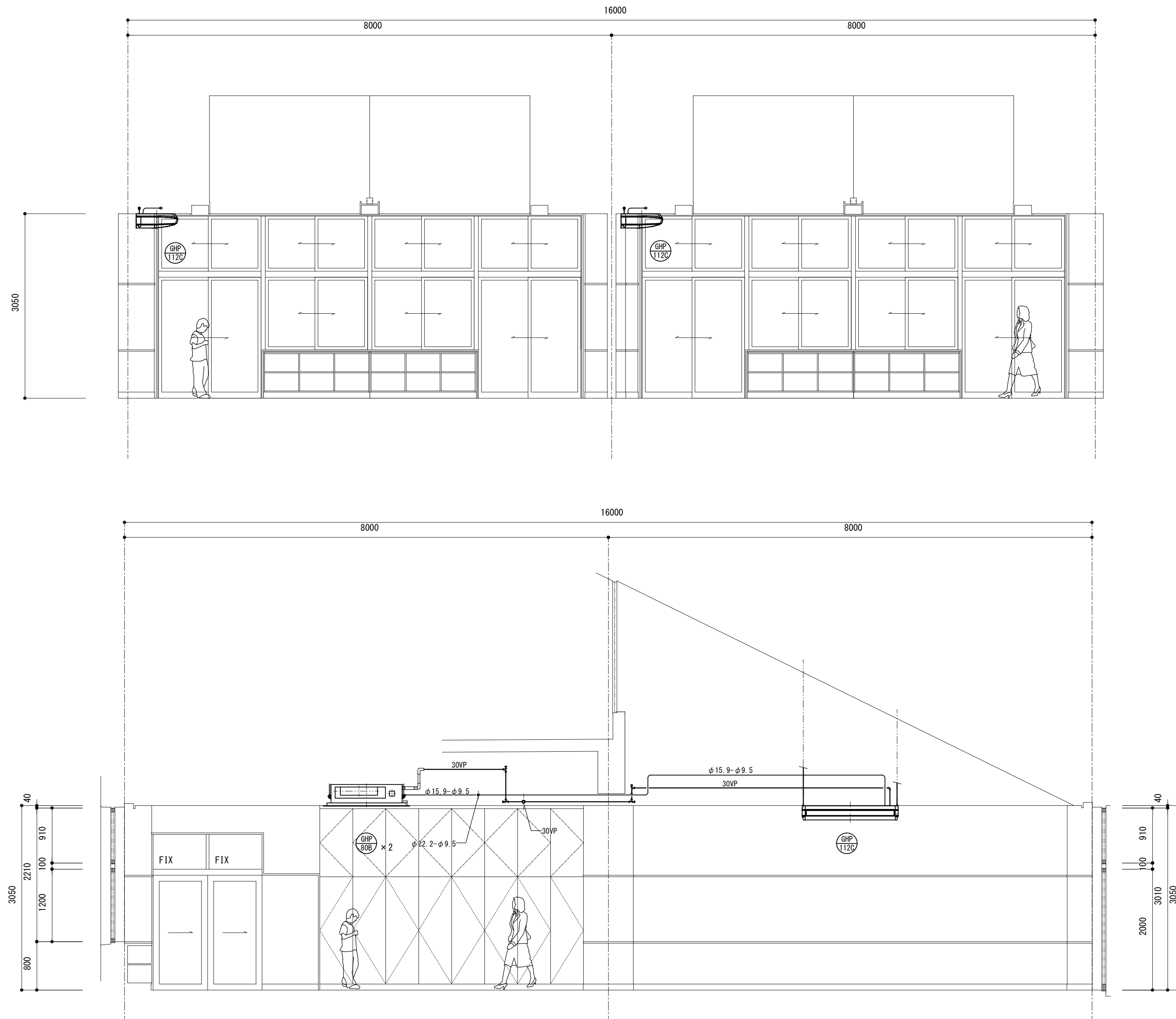
一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当	

縮尺 A2: 1/50
A4: 1/100
設計年月日

工事名称	猿橋小学校 空調設備工事 設計図
図面名称	普通教室詳細平面図

M - 10
No.



綜合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

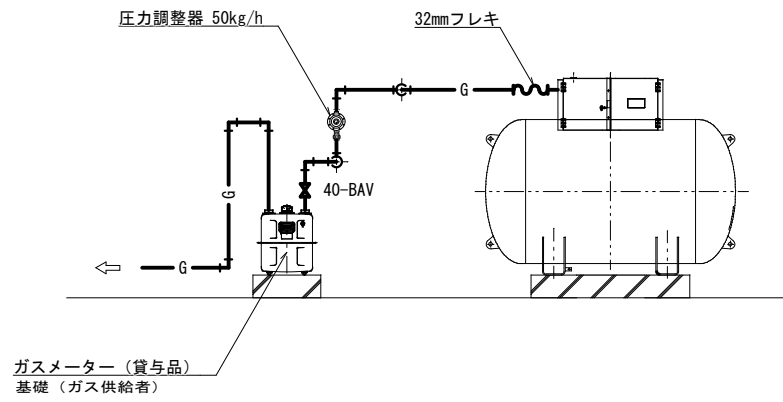
承認	設計	担当

縮尺 A2: 1/50
A4: 1/100
設計年月日

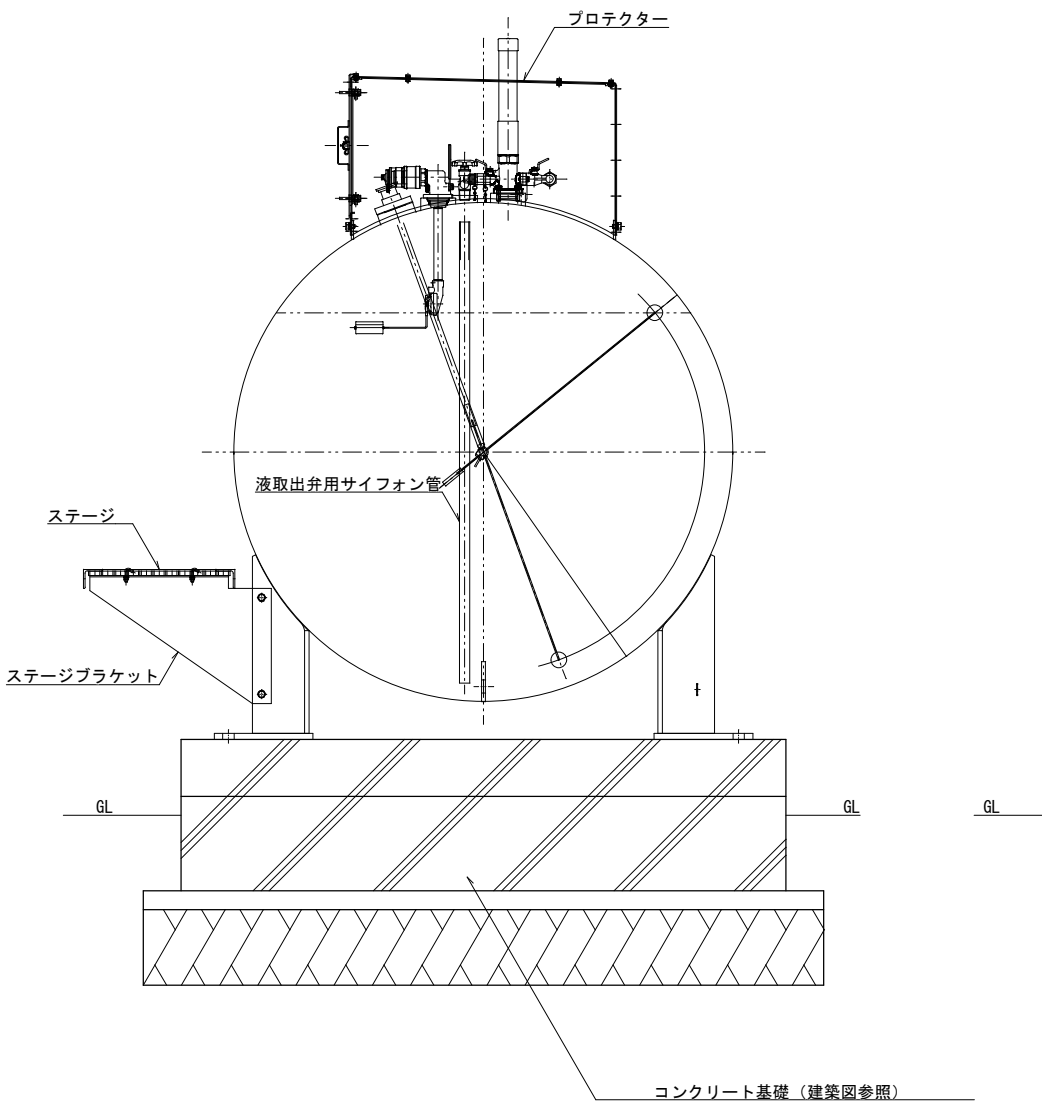
工事名称	猿橋小学校 空調設備工事 設計図
図面名称	普通教室詳細断面図

M - 11

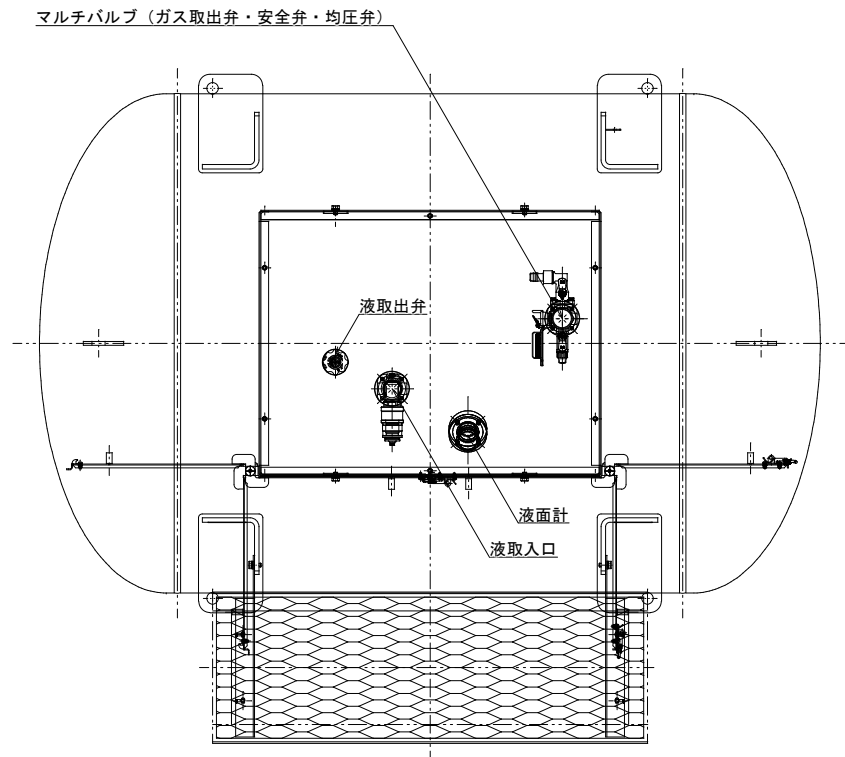
No.



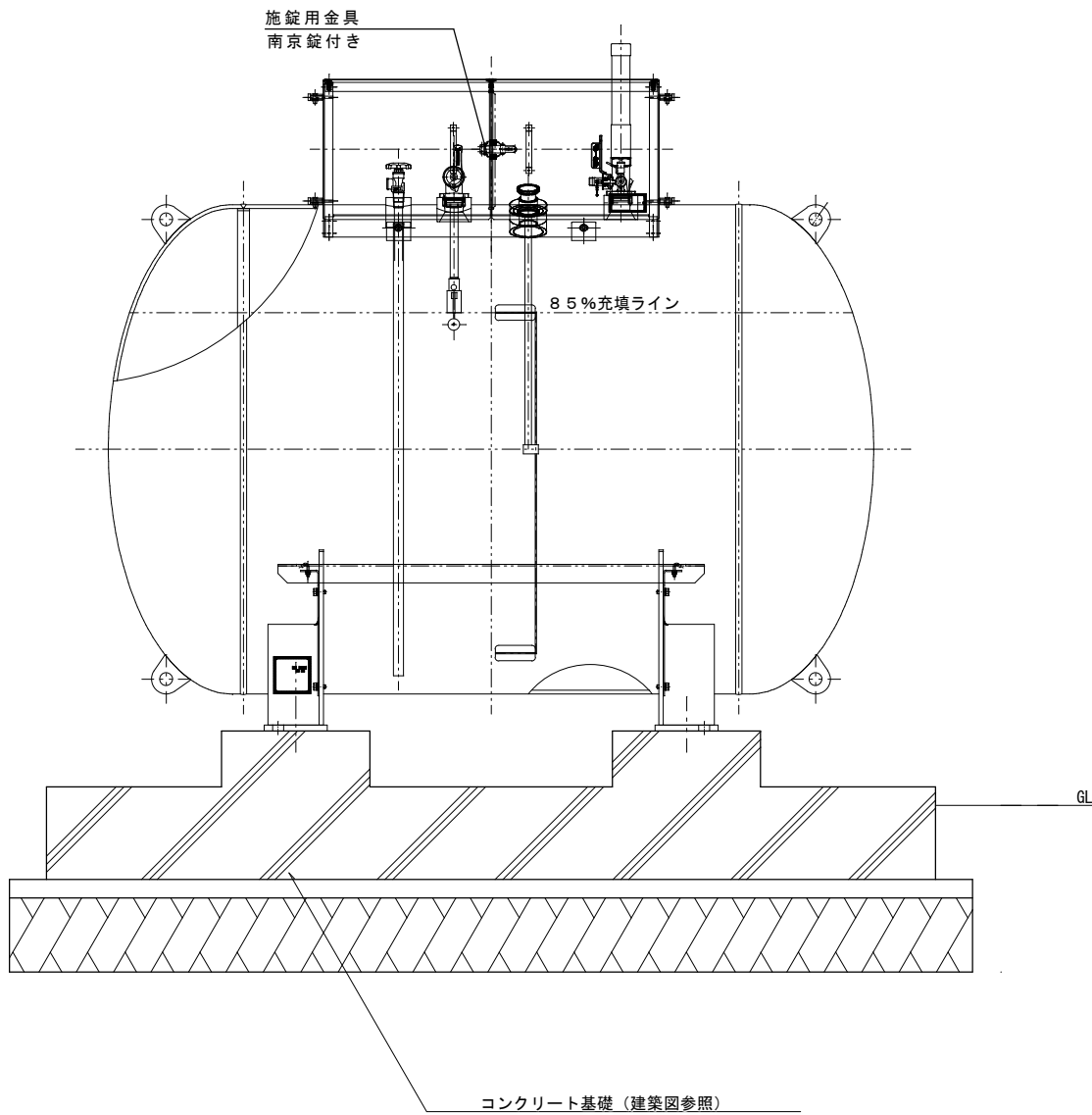
バルク貯槽廻り配管参考図



バルク貯槽 参考側面図



バルク貯槽 参考平面図



バルク貯槽 参考正面図

特記仕様

- 液化石油ガス用980kg型地上式横形バルク貯槽ユニット。
- 貯槽本体とプロテクターは、ボルト(M12)固定。
- プロテクターには屋根板と蓋板が設けられており、屋根板はボルト締結。
- プロテクター内部には、付属機器(液取弁(過充填防止装置付)・液取弁用連結弁・液取弁用カップリング・液取出弁・液取出弁用連結弁・マルチ連結弁・安全弁・ガス取出弁・均圧弁(均圧弁用オスカップリング付)・フロート式液面計)を設置。
- プロテクター壁面には、ガス取出配管用穴、液取出配管用穴、信号線を取り出すための樹脂フレキ管用穴、ブラケット固定用穴及び樹脂サドル固定用穴を設ける。
- 安全弁には放出管を設置し、先端部には防水キャップを設ける。
- フロート式液面計は残量20%及び40%の発信機能付きとする。
- プロテクターと貯槽本体の間には、ガスの滞留を防止するための約10mmのクリアランスを設ける。
- 貯槽の両側に、LPGガス・火気厳禁を刷込又は貼付する。
- 字体…丸ゴシック体/刷込色又はシール色…赤色
- 周囲フェンスは別途建築工事とする。消火器用BOXは本工事、消火器は別途備品対応とする。
- 圧力調整器は50kg/hとし、自然気化方式とする。
- 接地工事を行う。

貯槽諸元

1. 貯槽諸元

項目	内容
内容積	242L±2%
最大貯蔵量	約980kg
設計圧力	1.8MPa
設計温度	40℃
耐圧試験圧力	2.7MPa
気密試験圧力	1.8MPa
安全弁設定圧力	1.8MPa
質量	約940kg

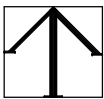
表面処理

1. 貯槽には、下表に示す処理、塗装を施す。

項 目		内 容
処 理	貯槽内面	清掃乾燥後、真空(真空度26.7～40kPa)にし、 N ₂ ガスを20kPa封入
	外 面	ショットブラスト施工
塗 装	錆止め	メーカー仕様とする
	上塗り	メーカー仕様とする

1. 材料は下表による。

部品名称	材料
胴板	SM520B t10
鏡板	SM520B t10.6
サドルサドル	SS400 t10
ブローカー	SS400 t2.5
アイプレート	SM520B t10.6



総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-29366号
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認 設計 担当

縮尺

設計年月日

工事名称 猿橋小学校 空調設備工事 設計図

図面名称 ガスバルクタンク参考図

M-12

No.

[illegible][illegible]